

# 令和4年度 社会福祉法人明桜会 事業計画書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

法人本部  
大地の家  
サポートセンター翔  
サポートセンター曙  
サポートセンター貴和  
明石市立総合福祉センター新館地域共生社会推進事業  
サポートセンター双葉  
共同生活介護事業やまゆりの家  
あいすくりーむの家  
かいのき  
すたじおぽっち  
相談支援事業所オアシス  
明石市障害者就労・生活支援センターあくと  
明石市立木の根学園



## □社会福祉法人明桜会

### 1. 法人使命及び基本理念

#### 【法人使命】

全ての知的障害を有している人々が、一人のかけがえのない人として豊かな生活を送ることができる地域社会をこの法人を立ち上げた明石地区手をつなぐ育成会やその他明石を中心に活動する福祉諸団体と共に育んでいく

#### 【基本理念】

- ・ 私達のご利用者一人ひとりの基本的人権を尊重します
- ・ 私達のご利用者と一緒に喜びや怒り、哀しみ、楽しみ等を共有します
- ・ 私達のご利用者の成長を喜びとします
- ・ 私達のご利用者の僅かな変化も感じとれる視点と感性・センスを磨きます
- ・ 私達のご利用者の意欲を高め、障害の軽減と自己実現に向けた支援に努めます
- ・ 私達は、一人ひとりの生活歴や背景、障害の状況等を理解し、本人の意思を尊重しながら、可能な限り地域社会で生活できるよう支援に努めます
- ・ 地域社会と常に連携を取りながら、障害に対する理解を広げます

上記の法人使命と基本理念を踏まえ法人に与えられた社会的役割を果たしていくため、以下の方針を立て重点事業を推進していきます。

### 2. 方針

#### ～法人使命の具現化～

- (1) 事業所は地域や行政機関等と連携し、ご利用者の望む暮らしの実現に向けて想像力をもって具体的な行動を起こし固有のニーズ解消に向け創造していく。そして、障害のあるないに関わらず、すべての人が地域で当たり前暮らし続けることができるまちづくりにつなげていく。

#### ～基本理念の遵守～

- (2) すべての職員は、ご利用者の自己選択と自己決定を尊重し人生の幸福感や生活の質の向上に努めていく。法人はご利用者の目線に立った支援が実践でき、その過程で生じる喜びを共有し合える職員を育成していく。

#### ～ガバナンスの強化～

- (3) 法人役職者全員が上記を理解し職位に応じた職務を果たすことで、法人使命基本理念を実現する組織に近づけていく。運営企画室はアクションプランを意識し法人の目指すべき状態を、管理者は事業所が目指すべき状態を明確に示していく。全役職者は職務行動計

画等を通して求められる役割の相互理解を図り事業計画を遂行していく。また、新たに設置する事業別ワーキングにおいては、各事業所で潜在化している課題を顕在化させ共通課題に普遍化していく事で、事業所の枠を超えた重層的な取り組みにつなげていく。

#### ～感染症対策の維持強化～

- (4) ご利用者及びそのご家族、職員等の生命と健康維持を最優先に考え、法人運営を行っていく。法人対策本部の意思決定の下、事業所感染対策委員会が機能する事で、感染予防対策の強化・感染者発生時における対応・集団感染防止に努める。法人対策本部は、全体の標準予防策向上に努めるとともに、感染者の発生時に備えた法人体制を構築する。

### 3.重点事業

#### ～個別ニーズ実現に向けた地域生活の基盤強化～

- (1) ご利用者の様々なニーズに応じた暮らしをコミュニティーの中で実現できるようにグループホームの増設や在宅支援体制の構築を検討していく。また、多様化する地域生活の選択肢と可能性について行政機関とも連携を図り、個別ニーズ実現に向けた地域生活の基盤強化を進めていく。

#### ～大地の家(ご利用者)居室の個室化～

- (2) 大地の家のご利用者は、青年期～壮年期～高齢期と年齢層も幅広く、また障害程度や特性も異なる方々が多数おられる。その多くが二人部屋で生活されているが、障害の重度化や高齢化に伴い生活スタイルの多様化が顕著になっているため、プライバシー尊重の観点からも大地の家ご利用者の居室の個室化に向けた体制構築を進めていく。

#### ～経営基盤の安定・財務分析の視点～

- (3) 法人が推し進める各事業の継続発展のためには安定した経営基盤は必須である。そのため、法人は新規事業を展開するにあたり中長期的な経営的視点をもって財務分析を行っていく。管理者は事業所の収支を意識し適切な収益確保に努めていく。

#### ～働き方改革の継続・人材定着の視点～

- (4) 職員の生活の質の向上のためワークライフバランスを導入し、自己啓発の充実、子育てや介護、地域生活における役割を果たしていく体制を構築する。一方、職員一人一人が仕事における自らの責任を理解しその職務を果たしていく体制の強化を図る。業務の効率化の一環として、ケース記録等のソフト導入を進めていく。

#### ～人材育成・キャリアアップについて～

- (5) 中長期的な法人運営を考えるうえで計画的な人材育成体制の構築は急務かつ必須であ

る。そのため法人としてチーム担当者を位置づけ、法人の基礎となるキャリアアップ／スキルアップそれぞれの観点から人材育成の体系化を進める。キャリアアップについては、法人全体として役職者の職務を明確に規定し評価と連動させることで、求められる職務を理解した行動がとれることを促していく。スキルアップについては、新人～中堅と職位に沿った研修等を計画的に実施するとともに自身のキャリアパスが理解できる体制を構築する。

#### ～支援力(アセスメントスキル)向上について～

- (6) 事業所としてご利用者に提供するものは個人に応じた支援が基礎になる。ご利用者に応じた支援を提供するうえで職員に求められる事はアセスメントを行う力である。そのため法人全体としてチーム担当者を位置づけ、アセスメントスキルが高い職員を育成しご利用者のニーズに沿った支援を提供する体制を強化していく。

#### ～リスクマネジメントについて～

- (7) 安心安全を担保した運営を行い、公共性公益性の高い社会福祉法人としての役割を果たすためリスクマネジメントは必須である。そのため、法人としてチーム担当者を位置づけ、様々な場面で起こるリスクを顕在化させその対策を具体的にすすめていく。

#### ～人材確保について～

- (8) 人材確保は福祉業界にかかわらず深刻な状況であるが、安定した法人の運営基盤を構築するには人材の確保は必須である。そのため、成果が上がっている人材確保チームを継続させることで、計画的かつ効率的に優秀な人材を確保していく体制を維持する。また、新たに地域の人材活用の観点からの取り組みをすすめ、多様な働き方に対応し幅広い層の人材確保を進めていく。

#### ～事業継続計画(BCP 作成)について～

- (9) 自然災害や、火災、感染症などの緊急事態に遭遇した場合において、法人及び事業所はご利用者及び職員の生命の安全を最優先に考え、その被害を最小限にとどめ事業を継続する事、また早期に復旧を図ることが求められている。そのため、法人としてチーム担当者を位置づけ、様々な場面で起こる緊急事態を想定しその対策と準備をすすめていく元となる事業継続計画を作成していく。

#### ～地域貢献～

- (10) 障害者スポーツ及び文化の推進

「明石市共生社会の発信拠点」である明石市立総合福祉センター新館事業、明石障がい者地域生活ケアネットワーク主催のアートシップ明石はじめ、各機関と連携を図りながら

障害者スポーツ・文化活動の推進に努める。スペシャルオリンピクス日本・兵庫明石プログラム事務局を継続して受託し、明石市における知的障害児・者のスポーツ推進をさらに進め障害者の生きがいを育むことに貢献していく。

(11) 明石市の福祉力向上に対する貢献

各事業所の動きだけでは法人使命の実現は難しい。明石障がい者地域生活ケアネットワーク、社会福祉法人連絡協議会等との連携を密にし、明石市の福祉力向上に対して貢献していく。

# 令和4年度 社会福祉法人明桜会 組織図(案)

## 理事会 (年5回)

《業務執行機関》業務執行の決定・理事の業務執行の監督

6月9日(木) 8月25日(木) 11月24日(木) 2月9日(木) 3月9日(木)



## 理事長・業務執行理事決裁 (随時)

(理事長・業務執行理事・運営企画室長・事務課長)

※決裁事項によっては、担当者が出席し詳細説明する。



## 運営企画室

毎月開催 原則、第2火曜日 大地の家 14時～

～職務権限規程参照～



## 各事業所

## 法人重点事業 (主担当)

人材確保チーム (渡邊・岡平)  
 事業継続計画(BCP)作成チーム (大西・寺田)  
 人材育成・キャリアアップチーム (加地・三村)  
 リスクマネジメントチーム (山崎・谷一)  
 支援力向上チーム (永井・宮崎)

## 評議員会 (年3回)

法人運営に係る重要事項の  
《議決機関》

6月24日(金)  
 12月9日(金)  
 3月24日(金)



## 監事監査(年1回)

5月27日(金)

## 運営協議会

大地の家  
 11月1日(火)

## 経営会議

木の根学園(年4回開催)  
 13時30分～15時30分

5月25日(水)  
 7月27日(水)  
 11月2日(水)  
 1月25日(水)

## 管理者会議

木の根学園(年4回開催)  
 16時00分～17時30分

6月21日(火)  
 9月20日(火)  
 12月20日(火)  
 3月20日(月)

## 事業別ワーキング

年4回開催  
 4月19日(火)  
 8月16日(火)  
 11月15日(火)  
 2月21日(火)

近種の管理者等が定期的  
 に集い、運営上の気づきや  
 課題を共有し、今後の事業  
 所運営について協議してい  
 く場とする。

## 感染対策委員会

(運営企画室)  
 年2回開催

4月28日(木)  
 10月27日(木)

※法人ガイドライン参照

## 虐待防止委員会

(鳥居・金尾・大西)  
 年2回開催

6月27日(月)  
 12月5日(月)

※虐待防止対応規定参照

令和4年度 社会福祉法人明桜会 年間予定表

日	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	土	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
1					火 運営協議会			日 元旦				
2					水 経営会議			月 年始休暇				
3					木 文化の日			火 年始休暇				
4					金			水				
5					土			木				
6					日			金				
7					月			土				
8					火			日				
9					水			月				
10					木			火				
11					金			水				
12					土			木				
13					日			金				
14					月			土				
15					火			日				
16					水			月				
17					木			火				
18					金			水				
19					土			木				
20					日			金				
21					月			土				
22					火			日				
23					水			月				
24					木			火				
25					金			水				
26					土			木				
27					日			金				
28					月			土				
29					火			日				
30					水			月				
31					木			火				
備考												
稼働日数			22		23		22		22		23	
休止日数			8		8		9		9		8	
職員公休日			9		9		10		10		8	

日	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
備考												
稼働日数	22		23		22		23		23		22	
休止日数	8		8		8		8		8		8	
職員公休日	9		9		9		9		10		9	

令和4年度 運営企画室取り組み内容と年間スケジュール

取り組み内容														
年間スケジュール														
No.		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	職務規定権限参照 ・法人使命に基づき、法人事業計画案・報告案を作成する ・各事業所及び各チームの事業計画・予算を確認し、進捗状況について把握し必要に応じて助言・監督を行う ・各事業所職員の昇格・降格・配置転換の申請を行う ・各事業所職員の法人企画への参加を命ずる ・各事業所職員の人事評価の調整及び管理者評価を行う	命令交付式 事業別ワーキング 感染対策委員会	監事監査 経営会議	理事会・評議員会 事業・決算報告 管理者会議 法人虐待防止委員会	経営会議	理事会 チーム・事業所の半期 報告 事業別ワーキング	管理者会議	感染対策委員会	理事会 中期会計報告・補正予 算審議 運営協議会 経営会議 事業別ワーキング	評議員会 管理者会議 法人虐待防止委員会	経営会議	理事会 チーム・重点事業の年 度報告 事業別ワーキング	理事会・評議員会 次年度の事業計画・予 算審議 管理者会議	
	法人動向	担当事業所 ミーティング ※事業所・職務行動計 画作成広報 ※事業報告作成広報 ※役員者行動評価表主 ニタリタリ広報	※正規・月給職員の業 績達成度目標作成の 広報		担当事業所 ミーティング ※半期報告作成広報 (各チーム・重点事業 所)		※補正予算案の提出 広報(管理者・事務) ※役員者評価の広報	担当事業所 ミーティング ※管理者評価作成の 広報(管理者)			次年度法人事業計画 (案)の重点方針の策 定	担当事業所 ミーティング ※次年度重点方針・事 業の周知と併せて事業 計画作成広報 ※半期報告作成広報 (各チーム・重点事業 所) ※正規・月給職員の自 己評価作成の広報		
②	担当業務		正規・月給職員の業 績達成度目標作成											
	一般職 人事評価	職務行動計画作成 役員者行動評価表主 ニタリタリ												
③	人事関係													
	役員評価													
	人事関係													
	人事関係													

## □法人事務課

### 1. 概要

- (1) 部署名 法人事務課
- (2) 設置場所 明石市大久保町大窪 2752-1 大地の家内
- (3) 提供するサービスと利用定員
  - 法人内 13 名
  - 事業所定員数合計 384 名
- (4) 職員定数
  - 課長 1 名
  - 法人 PR コーディネーター(副主任) 1 名
  - 事務員(主任) 1 名
  - 事務員(常勤) 4 名

### 2. 基本方針

- (1) 社会福祉法人明桜会の使命と理念に則り、常にサービスの基本を利用者主体に置き、丁寧な窓口対応を心がけます。
- (2) コンプライアンスを重視し、適切な事務処理を行います。また、行政及び関係機関と信頼関係の構築を図ります。
- (3) 積極的に研修、説明会に参加し、職員の能力開発や専門性の向上を図ります。
- (4) 法人事務課で得た情報を各事業所に発信し、スムーズな事業所運営と安定した経営基盤の強化を図ります。

### 3. 活動内容

- (1) 障害福祉サービス事業費及び利用料の請求受領に関する事務(月平均約 600 件)
- (2) 人事労務、社会保険、福利厚生、給与、年末調整、人事データ管理等、給与・労務に関する事務(職員数 280 人)
- (3) 金銭出納、資金管理、租税公課、固定資産管理、予算・決算処理等、会計・経理に関する事務(法人全体 1 拠点、37 サービス区分)
- (4) 各事業所の指定・変更申請、届出及び報酬改正に関する事務
- (5) 法人本部に関する事務(理事会・評議員会・評議員選任解任委員会・運営協議会開催に関する事務)

### 4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 5. 地域交流計画

事業所の行う地域交流計画の必要に応じて参加します。

### 6. 年間予定表(法人の年間計画参照)

事業所名 (法人事務課)

今年度の最重点目標	
①	<p>①大地の家個室化に向けての検証と新規事業支援 ※法人重点事業(1)(2)</p> <p>②財務 経費削減努力と適切な収益確保 ※法人重点事業(3)</p> <p>③労務 働き方改革への対応 ※法人重点事業(4)</p> <p>④人事 新キャリアパスの実施と人事考課制度のスムーズな運用 ※法人重点事業(5)(8)</p> <p>⑤事務職員の能力向上のための研修参加、課内勉強会の開催</p>
優先度	目標達成のために実施する事
①	<p>大地の家個室化に向けての検証と新規事業支援 ※法人重点事業(1)(2)</p>
②	<p>経費削減努力と適切な収益確保 ※法人重点事業(3)</p>
③	<p>働き方改革への対応 ※法人重点事業(4)</p>
④	<p>新キャリアパスの実施と新人事評価制度のスムーズな運用 ※法人重点事業(5)(8)</p>
⑤	<p>事務職員の能力向上のための研修(オンライン)参加及び課内勉強会・法人勉強会の開催 ※インボイス制度の準備</p>
具体的な方法	
①	<p>●2021年度に引き続き法人の重点事業(1)(2)に基づき、グループホーム等新規事業についての必要な支援一補助金申請、指定申請事務等を行う。また、大地の家の個室化に向けて、定員減による運営費の試算や人員配置の検討、実施に伴う問題の検証等、現場サイドと協力しながら進めていく。</p>
②	<p>●2019年度以降、毎年各事業所の経営努力は上向きに数字に反映されている。各事業所の経営意識は高まっていることが明確なため、今年度も四半期ごとの経営会議の開催、毎月の予算執行状況の報告を行う。また、契約、購入決済に関する見直しも合わせて見直しを行い、経費削減努力を促すよう促し、財政基盤の安定を図るため、経営分析を行うとともに予算管理の重要性を伝えていく。</p> <p>●補助事業、助成事業の申請をスムーズに行えるように各事業所を支援する。</p>
③	<p>●2019年度以降、毎年年休取得率は上がっている。今年度も年2回事業所別に年休の取得状況を確認し、取得率を算出し管理する。</p> <p>●2019年度以降、時間外勤務も減少しているが、一部特定職員の時間外勤務状況は目立っている。業務上やむをえない場合もあると思われ、取得状況を把握する中で、必要に応じて管理職者に確認作業を行う。</p> <p>●引き続き業務の効率化に向けての検討作業に加わり、記録に関するソフト導入等について検討する。</p> <p>●2022年度より次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画だけでなく新たに女性活躍推進法の改正に伴う女性活躍推進のための一般事業主行動計画が加わる。また育児・介護休業法の改正が4月、10月に行われるため、これらの計画及び実施内容の周知を図り、実施状況の確認を行う。</p>
④	<p>●2021年度から実施している人材確保と人材育成のための新キャリアパスと新人事評価制度の運用について、スムーズに行えるように各チームと協力しながら進めていく。</p>
⑤	<p>●労務・財務・法人運営、担当業務の研修会(オンライン)への積極的な参加を促し、課内勉強会を開催し、事務職員の育成を図る。必要に応じて法人内勉強会を企画する。</p> <p>●インボイス制度の準備を行うと共に管理者及び事務員に対しインボイス制度についての広報及び研修を行う。準備としては適格請求書や適格簡易請求書の発行や保存の準備や、関係する全ての取引業者、事業者、個人商店、フリーランス等との取引についてのルールを設け、請求書・領収書・レシート等の書式の変更、レジの設定を2022年度中に行い、税務署へ「適格請求書発行事業者の登録申請」を行う。</p>

行動計画 事業所名 (法人事務課)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	大地の家個室化に向けての検証と新規事業支援 ※法人重点事業(1)(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大地の家の個室化に向けての検証:定員減による運営費の試算や人員配置の検討、実施に伴う問題の検証等</li> <li>●新規グループホーム事業の立ち上げ:補助金申請、指定申請。</li> </ul>												
②	経費削減努力と適切な収益確保 ※法人重点事業(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●請求業務～加算の根拠の状況確認、人員配置の確認 ●会計業務～毎月の予算執行状況報告・利用率報告</li> <li>●補助金・助成金申請・報告</li> <li>●加算の届出</li> <li>●インボイス(適格請求書発行事業者の登録申請準備)</li> <li>●経営会議</li> <li>●経営会議</li> <li>●指定・変更申請</li> <li>●経営会議</li> </ul>												
③	働き方改革への対応 ※法人重点事業(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●働き方改革:定時退社・年休取得の推進、時間外勤務の削減</li> <li>●女性活躍推進法の改正に伴う一般事業主行動計画の周知</li> <li>●就業規則・協定類届出 ●規則類変更対応・周知</li> <li>●処遇改善加算計画 ●処遇改善加算報告</li> <li>●業務効率化のための記録ソフト検討</li> </ul>												
④	新キャリアパスの実施と 新人事評価制度のスムーズな運用 ※法人重点事業(5)(8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新キャリアパスの実施と人事考課制度のスムーズな運用</li> </ul>												
⑤	事務職員の能力向上のための研修(オンライン)参加及び課内勉強会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>●随時 外部研修会:働き方改革、社会福祉法人会計実務、法人運営、労務、報酬改正等</li> <li>●年1回 課内勉強会の開催 必要に応じて法人内勉強会の開催</li> </ul>												

事業所名 (法人PRコーディネーター)

<p><b>今年度の目標</b></p>		<p>ご利用者の望む暮らし実現のためのPR活動</p> <p>① 「明桜会サポーター」を広め、入会者1000人を目指す。(事業展開のための資金調達、理解者を増やす)</p> <p>② 社外広報を通して明桜会の認知度を上げ、インフォーマルな社会資源とご利用者をつないでいく。</p> <p>③ 社内広報を通して理念(明桜会らしさ)の浸透を図り、スタッフ一人ひとりがご利用者の目線に立った支援の実践につなげられるよう意識付けを行う。</p>
<p>①</p>	<p><b>目標達成のために実施する事</b></p> <p>「明桜会サポーター」募集の周知活動を行い、継続率の向上を図る。</p>	<p style="text-align: center;"><b>具体的な方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 広範囲に向けて、活動の内容・サポーター募集を伝える。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に年間の『Mマガ』を配布し、明桜会の取組を周知。育成会、学校、スタッフ家族、日頃関わりのある業者へ向けて郵送。</li> <li>・一般企業、同業者へ向けて営業活動。</li> </ul> </li> <li>● 『年次報告書』の発行。サポーターの方々へ向けて1年を通じた活動の報告を行い、成果を見える化する。</li> <li>● 繋がっていただいた方へ向けて、希望者にメルマガの配信。法人内の新規事業の進捗やプロジェクト・事業所の取組を取材し配信する。</li> <li>● 大久保まち協の活動に参画し、地域のニーズを拾う。できることを模索しながら地域交流・社会貢献活動を行う。</li> <li>● 外部(企業・ボランティア)へのアプローチを行う。協力者を得ながら広めていく仕掛けづくり。</li> <li>● 各事業所と協働し、広報活動を行う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPに「お知らせ」のコーナーをつくり、とりまとめを行う。(販売・イベント・地域へ向けた情報などを掲載)</li> <li>・コットンペーパーを活用し、事業所の活動紹介や障害福祉の啓発となるような取組を行う。</li> <li>・出張販売の機会をつくり、法人内の取りまとめを行う。</li> </ul> </li> <li>● 子供(親子)を対象にした地域交流イベントの企画立案。「謎解き(リアル宝探し)」</li> <li>● SNS(インスタ・YouTube・Facebook)、ブログ、広報誌を活用した情報発信。</li> <li>● 社内報『Mマガ』の作成・配布(年4回)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の情報共有・法人の理念やビジョン浸透・社内コミュニケーションの促進。「らしさ」を軸にオープンに発信していく。当事者・保護者の声を拾うことにも注力する。</li> <li>・取材・アンケートを実施し、内部の情報収集を行う。</li> </ul> </li> <li>● 「明桜会のうた」を活用して、コンセプトムービーをつくる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・”ともに歩む、明日をつくる”(なんのために、誰のために)、を法人内外へ伝えていく。HP、SNS、イベントで広める。</li> <li>・スタッフが制作の工程に関わる機会をつくり、自分ごととして捉えやすくする。</li> </ul> </li> </ul>
<p>②</p>	<p>直接的/間接的に地域交流を行う。</p>	
<p>③</p>	<p>法人の方向性や理念を正しく理解し、内部・外部へ発信する。</p>	

行動計画 事業所名 (法人PRコーディネーター)

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	「明桜会サポーター」の周知活動を行い、入会・継続率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「明桜会サポーター」の広報スタート (「Mマガ」特集号の発行に合わせてHP・パンフ情報解禁)</li> <li>● 年次報告書の発</li> </ul>												
②	直接的/間接的に地域交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HPに「お知らせコーナー」つくる</li> <li>● イベント企画立案</li> </ul>												
③	法人の方向性や理念を正しく理解し、内部・外部へ発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「Mマガ」(Vol.9)制作/配布</li> <li>●「Mマガ」(Vol.10)制作/配布</li> <li>●「Mマガ」(Vol.11)制作/配布</li> <li>●「Mマガ」(Vol.12)制作/配布</li> </ul>												

← 営業活動 ・メルマガ配信(不定期) →

← HPに「お知らせコーナー」つくる →

・大久保自治会清掃活動 参加 (偶数月第2土曜AM)  
 ・大久保まちづくり協議会PI会議 参加 (毎月第4土曜AM)  
 ・事業所を訪問し、取組を取材。SNSで発信していく。(不定期)

● コンセプトムービーの制作  
 ⇒HP、youtubeに掲載

## □大地の家

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名 障害者支援施設大地の家
- (2) 設置場所 明石市大久保町大窪 2752-1
- (3) 提供するサービスと利用者定員

#### 利用者定員

施設入所支援	50名
生活介護	50名 58名(登録者)
短期入所	6名
日中一時支援	6名

#### (4) 職員配置

管理者	1名
サービス管理責任者	1名(主任)
副主任	3名
協力医	1名
看護師	1名
栄養士	1名
生活支援員	27.5名(常勤換算 25.9名予定)
事務員	7名(法人事務課含む)

### 2. 基本方針

- (1) ご利用者のライフステージに沿ったニーズを抽出し個別支援計画に反映させ自己選択自己実現に向けた支援を提供していきます。
- (2) ご利用者の重度化、高齢化への対応及びプライバシー保護等の観点から居室の個室化に向けた取り組み(地域移行)を行います。
- (3) 職員は常にご利用者の視点に立った行動をとることを心掛け、役職者が先頭に立ち、そのことが実践できているかを確認し合える職員集団を作っていきます。
- (4) ご利用者及び職員の健康と生命を第一に考え、新型コロナウイルスのみならず感染症に対する施設全体の標準予防対策レベルを強化していきます。
- (5) 運営上必須となる事項について、委員会を設置し計画的に実施していく事で法令順守に努めます。

### 3. 活動内容

#### (1) 個別の特性に応じた日中活動の提供

体力づくりや創作活動、療育活動やクラブ活動など複数の活動からなる週間プログラムを作成し、個別の特性とニーズに応じた日中活動を提供していく。

- (2) 地域とのかかわりを意識した活動の実施
  - ・ 近隣公園等の清掃や園芸活動、孤立化する地域の高齢者とのふれあいや自治会イベントなどご利用者と共に参画していく。
  - ・ 地域のボランティア利用を継続し外部とのかかわりを繋いでいくとともに、移動支援などのフォーマルなサービスも継続して利用しご利用者の社会参加を促していく。
- (3) 大地の家の個室化(地域移行)に向けた活動の実施
  - ・ 家族会等を対象に、重度障害者のグループホームでの暮らしを知る機会を作る。(見学会や勉強会など)
  - ・ ご利用者の立場に立って「将来、どこで誰とどうやって暮らしていくか」考え、その人らしい暮らし方を個別支援計画に反映させていく。併せて、成年後見制度など将来の暮らしに必要な資源は積極的に調整していく。
  - ・ ご利用者が移行するグループホーム開設に向け設計士等と協議を重ねるとともに地域住民へ対する理解啓発を図っていく。
- (4) 健康管理に関する活動の実施
  - ・ 内科検診(6回/年)
  - ・ 健康診断(2回/年)
  - ・ 救急想定訓練救急法講習(2回/年)
- (5) 人材育成に関する活動の実施
  - ・ 新人及び異動者等に対するOJTを担当者を決めて計画的に実施します。
  - ・ OJT担当者へのスーパーバイズを役職者が計画的に実施します。
  - ・ 支援員のアセスメント力、マネジメント力向上のため役職者と担当で定期的に夢マップ・個別支援の経過を振り返り、必要に応じてケース会議を実施します。
  - ・ 法人の人材育成及び支援力向上チーム等と連携した体制を構築します。
- (6) 委員会活動

施設運営上必須となる事項を委員会を設置して計画的に実施していく。

  - ・ 虐待防止、身体拘束適正化委員会
  - ・ 感染症対策委員会
  - ・ 危険予測委員会
- (7) その他
  - ・ 大地の家の個室化に向けた体制整備期間中は、定員に空きが生じても原則入所者の公募は実施しない。
  - ・ 新型コロナウイルスの感染状況及び社会情勢を見極め、短期入所事業を行っていく。

#### 4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

#### 5. 地域交流計画

- (1) コットンペールにおいてお客様の対応をご利用者が行うなど地域の方との交流を深める。
- (2) イベントを通じた地域との交流  
大久保駅前夏祭り、パレット祭り、三世代フェスティバル、乳児院との合同夏祭り、スポーツ 21 への参加。ふれあい給食の実施等。近隣施設と連携し、地域住民を対象としたイベントの企画実施。
- (3) 市内社会福祉法人との連携(明石市社会福祉法人連絡協議会を通じて)啓発活動、研修会等の企画実施。

#### 6. 防災・防犯計画

- ・ 避難訓練月/1 回。年/1 回の消防署立会い訓練
- ・ 明石市協定による福祉避難所としての役割

#### 7. 年間予定(別紙参照)

事業所名(大地の家)

<b>今年度の最重点目標</b>	<p>①ご利用者個人のプライベート空間を確保するため、個室化に向けて取り組めます。(男性7名の地域移行)                  ②ご利用者お一人一人の想いを正確に確認し、その実現をすることで生活の質の向上につなげます。                  ③ご利用者の権利擁護に関する事、命や健康、快適な暮らしに関して常に意識して業務に取り組み始める環境を整えます。</p>
------------------	--

<b>具体的な方法</b>	
<b>優先度</b>	<b>目標達成のために実施する事</b>
①	男性7名のグループホームへの移行を行います。(目標:入所定員30名)
②	ご利用者お一人ずつ「夢マップ」を作ります。
③	委員会及び担当を明確にし計画的にご利用者・職員の声を反映させていきます。

**具体的な方法**

令和4年9月の開所を目標に、ご利用者の選定・移行後の暮らし方・日中活動先の調整・緊急時の対応等を法人と連携して進めていくとともに、近隣地域への理解啓発を図ります。ハード面については高齢になっても住み続けられるようオーナー及び設計士等と協議を詰めていきます。

ご利用者個人の想いを中心に、具体的にどんなことができるか?できそうかを職員間で検討し、ご本人やご家族に説明できる夢マップを作成し実行していきます。

委員会(虐待防止委・身体拘束適正化、感染対策、危険察知)及び担当(日中活動)を明確にし、日常生活や支援の中で上がってくる課題を集約し具体的に解決を図っていきます。

行動計画 事業所名(大地の家)

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	男性7名のグループホームへの移行を行います。	ご家族・行政・関係機関等々との打ち合わせ オーナー及び設計士等との協議						移行開始	モニタリング	モニタリング	モニタリング			モニタリング
②	ご利用者お一人ずつ「夢マップ」を作ります。	アセスメント・ニーズ整理票 ご家族等と確認 アセスメント・ニーズ整理票 夢マップ作成・個別支援計画案作成 評価表・個別支援計画案作成												
③	委員会及び担当を明確にし計画的にご利用者・職員の声を反映させていきます。	各委員会等の年間計画に沿って実施												

令和4年度 社会福祉法人明桜会 大地の家 年間予定表

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
1	金	辞令交付式	日		水		金		月	定例会	木		土		火	定例会	木		水		日	元旦	水		水	
2	土		月		木		土		火	定例会	金		日		水		金		木		月	年始休暇	木		木	
3	日		火	憲法記念日	金		日		水		土		月		木	文化の日	日		土		火	年始休暇	金		金	
4	月		水	水みどりの日	土		月		木		日		火	定例会	金		月		日		水		土		土	
5	火	定例会	木	こどもの日	日		火	定例会	金		月		水		土		火		日		木		日		日	
6	水		金	前期健康診断予定	月		水		土	開所日	火	定例会	日		日		水		月		金		月		月	
7	木		土		火		木		日		水		木		金		火		日		土	開所日	火		火	定例会
8	金		日		水		金		月		火		日		月		土		火		日		水		水	
9	土		月		木		土		火	役職者会議	日		金		水		土		月		火	成人の日	木		木	
10	日		火	定例会	金		日		水		土		月		木		日		金		火	定例会	金		金	
11	月		水		土		月		木	山の日	日		火		金		土		月		水		土		土	建国記念日
12	火	役職者会議	木		日		火	役職者会議	金		月		水		土		日		火		木		日		日	
13	水		金		月		水		土		日		火		日		月		火		金		月		月	
14	木		土	開所日	火	役職者会議	木		日		月		火		土		日		水		土		火		火	役職者会議
15	金		日		水		金		月		火		日		月		土		日		火		水		水	
16	土		月		木		土	開所日	火		日		金		月		火		月		水		木		木	
17	日		火	役職者会議	金		日		水		土		火		日		金		火		土	役職者会議	金		金	
18	月		水		土		月	海の日	日		火		水		日		月		火		水		土		土	
19	火		木		日		火		金		月	敬老の日	日		土		火		月		木		日		日	
20	水		金		月		水		土		火		月		日		日		火		金		月		月	
21	木		土	開所日	火		木		日		月		火		月		土		水		土	開所日	火		火	春分の日
22	金		日		水		金		月		火		日		火		日		木		日		水		水	
23	土	開所日	月		木		土	開所日	火	職員会議	日		金	秋分の日	月		土		火		月		木		木	
24	日		火	職員会議	金		日		水		土		火		日		日		金		火	職員会議	金		金	
25	月		水		土		月		木		火		月		日		火		土		水		土		土	開所日
26	火	職員会議	木		日		火	職員会議	金		月		火		月		日		日		木		日		日	
27	水		金		月		水		土		火		火		火		土		月		金		月		月	
28	木		土	開所日	火	職員会議	木		日		月		水		火		日		火		土	開所日	火		火	職員会議
29	金	昭和の日	日		水		金		月		火		日		日		土		水		日		日		日	
30	土	開所日	月		木		土	開所日	火		日		月		火		日		木	年末休暇	金		月		水	
31	日		火	前期健康診断予定	土		日		水		火		金		日		土		日	年末休暇	土		月		木	
備考													障害者運動会		後期健康診断予定 インフルエンザ予防 クッキング予定		大地クリスマ ス会		新年会		節分		お疲れ様会			
稼働日数	22		23		22		23		23		22		23		22		22		22		20		23			
休止日数	8		8		8		8		8		8		8		8		9		9		8		8			
職員公休日	9		9		9		9		10		9		10		9		10		10		8		9			

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
1	金	辞令交付式	日		水		金		月	定例会	木	
2	土		月		木		土		火	定例会	金	
3	日		火	憲法記念日	金		日		水		土	
4	月		水	水みどりの日	土		月		木		日	
5	火	定例会	木	こどもの日	日		火	定例会	金		月	
6	水		金	前期健康診断予定	月		水		土	開所日	火	定例会
7	木		土		火	定例会	木		日		水	
8	金		日		水		金		月		日	
9	土		月		木		土		火	役職者会議	金	
10	日		火	定例会	金		日		水		土	
11	月		水		土		月		木	山の日	日	
12	火	役職者会議	木		日		火	役職者会議	金		月	
13	水		金		月		水		土		火	役職者会議
14	木		土	開所日	火	役職者会議	木		日		月	
15	金		日		水		金		月		火	
16	土		月		木		土	開所日	火		日	
17	日		火	役職者会議	金		日		水		土	開所日
18	月		水		土		月	海の日	日		火	
19	火		木		日		火		金		月	敬老の日
20	水		金		月		水		土		火	
21	木		土	開所日	火		木		日		月	
22	金		日		水		金		月		火	
23	土	開所日	月		木		土	開所日	火	職員会議	日	
24	日		火	職員会議	金		日		水		土	
25	月		水		土		月		木		日	
26	火	職員会議	木		日		火	職員会議	金		月	
27	水		金		月		水		土		火	職員会議
28	木		土	開所日	火	職員会議	木		日		月	
29	金	昭和の日	日		水		金		月		火	
30	土	開所日	月		木		土	開所日	火		日	
31	日		火	前期健康診断予定	土		日		水		火	
備考												
稼働日数	22		23		22		23		23		22	
休止日数	8		8		8		8		8		8	
職員公休日	9		9		9		9		10		9	

## □サポートセンター翔

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名                   サポートセンター翔
- (2) 設置場所                 兵庫県明石市魚住町長坂寺 740
- (3) 提供するサービスと利用定員
  - 生活介護                   60 名
  - 短期入所                   3 名
- (4) 職員定数
  - 管理者                     1 名
  - サービス管理責任者   1 名
  - 生活支援員               36 名予定
  - 看護師                    1 名
  - 機能訓練指導員        1 名
  - 事務員                    1 名
  - 嘱託医                    1 名

### 2. 基本方針

- (1) 利用者一人ひとりが個々の状況に応じた様々な日中活動を楽しみ、主体的な活動参加を大切にします。
- (2) 障害程度の重い利用者も対応できるように療育環境の整備を図り、一人ひとりに適した過ごし方が出来る様に努めます。
- (3) 職員には内・外の様々な研修の機会を設け、人間性の育成をも含めた全人的な資質向上を図ります。
- (4) 法人内各事業所をはじめ、近隣の多様な社会資源とも連携を図りながら、知的障害者の地域生活に貢献します。
- (5) 利用者と共に地域活動にもアプローチしながら地域共生の動き作りを進めます。

### 3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

- (1) 新規利用者の受け入れと安定した事業運営
- (2) ガバナンス整備と利用者活動の充実
- (3) 職員の支援力向上に関する役職間の共有とアプローチ
- (4) 施設設備および環境整備

### 4. 活動内容

- (1) 利用者支援
  - ① 楽しみや生きがい作りと共に作業活動も大切にしながら、構造化や視覚化等も取り入れた個別支援の充実を図る。
  - ② 日常的な活動に併せて、外部の社会資源を活用したプログラムも取り入れて幅の広い活動を提供する。

- ③ 行事計画については季節感のある取り組みや、新たな社会体験に繋がる様な企画も実施する。
  - ④ 利用者の地域活動も出来る範囲で取り組みながら、地元地域の人達との交流を通じて関係作りを進める。
  - ⑤ 健康管理については保護者等と連携し、日々の細かな情報交換や確認などを通じて利用者の健康維持に努める。健康診断やインフルエンザ予防接種もできるだけ実施する。
  - ⑥ 入所施設およびグループホーム利用者、地域でのひとり暮らし利用者等の支援については相談支援事業所や地域の多様な社会資源と連携しながら支援に取り組む。
  - ⑦ 短期入所事業については、施設利用者を含む地域の知的障害者の社会的自立の促進と、擁護者のレスパイトとしても継続して取り組む。
- (2) 保護者会関係
- ① 保護者及び家庭との連携については、日々の連絡ノートや活動記録等を通じて個別の情報交換を行い相互理解を図る。
  - ② 保護者会の開催等についてはコロナ状況を勘案しながら保護者会役員と協議して決める。
- (3) 職員関係
- ① 管理者会議、役職会議、各グループ会議の定期開催により課題や成果の共有を図りながらガバナンスの再整備を図る。
  - ② 各会議運営と連絡協議を通じて個々の利用者支援プログラムの充実と権利擁護意識を育成する。
  - ③ WEBを含めた内外の研修機会に出来るだけ各職員を参加させ知識やスキルの充実に図る。
  - ④ 重度領域の利用者支援については行動障害等に起因する支援の困難性が伴うが、役職者からの個別SV機能を強化しながら各職員のスキルアップを図る。
  - ⑤ 働きやすい職場作りを目指しIT機器等を活用した事務の効率化や定時退社の習慣化を図る。また、時短職員や妊婦等への配慮も継続する。
- (4) 委員会活動と感染対策
- ① コロナを中心にした感染症対策として感染対策委員会を設け予防対策や有事対応に備える動きを整える。
  - ② 虐待防止委員会については定期的に会議を開催し、状況把握や課題の検討及び研修会の実施等を通じて発生予防に取り組む。また、身体拘束に関する検討会議も実施しガイドラインづくりを行い総体的な利用者の権利擁護に繋げる。
  - ③ 衛生委員会も定期的に開催しヒヤリハット事例や事故事例の検証からリスクマネジメントに繋げる。

## 5. 地域交流計画

- (1) 近隣特別支援学校からの施設実習や見学等を継続的に受け入れ、進路指導に繋げながら連携を継続する。
  - (2) 各種大学等からの介護体験実習や社会福祉士相談援助実習等を受け入れ総体的な人材育成や新卒採用に繋げる。
  - (3) 地域との交流や啓発を進めるために、135 ネット、ほっとかへんネット、魚住東地区社会福祉協議会、錦が丘まちづくり協議会、魚住まちづくり協議会等の活動に連動する。
6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名 (サポートセンター翔)

今年度の目標	
①新規利用者の受け入れと安定した事業運営 ②ガバナンスの整備と利用者活動の充実 ③役職間の共有とアプローチャによる職員の支援力向上 ④施設設備および環境の整備	
優先度	目標達成のために実施する事
①	○いなみの支援学校卒業生の受け入れ ○いなみの支援学校現場実習の実施と見学の受け入れによるライン作り ○感染症(コロナ)対策の継続
②	○管理者会議からの法人情報を役員職会議、グループ会議へ運動性を持たせた会議開催 ○利用者活動に関する情報や課題の共有と対策実施による充実 ○各種委員会活動を通じた権利擁護意識の育成
③	○WEBを含む内外の研修参加による各職員のレベルアップ ○個々の利用者支援に対する役職者のSV機能の強化 ○療育環境の整備
④	○老朽化している施設設備や環境について優先順位を勘案し整備や改修(エアコン・エレベーター)
具体的な方法	
・令和4年度についてもいなみの特別支援学校卒業生(重度者)1名を受け入れ、利用実績を確保する。 ・例年取り組んでいる、いなみの支援学校の現場実習等は出来るだけ取り組み、地域の重度知的障害者に対する、将来の社会参加ニーズへの道筋を継続して作る。 ・事業所内での感染症対策の継続(検温・手指消毒等、発熱者及び不調者への個別対応、活動環境の整備、館内換気と消毒等)と感染対策委員会を定期に開催する。	
・ガバナンス整備に関しては管理者会議からの法人情報を役員職会議や各グループ会議へと運動性を持たせながら連絡・確認を行い、事業所情報も管理者会議へ伝達し風通しの良い職場環境を作る。 ・利用者活動の更なる充実に向けて各現場と役職間のコミュニケーションを深めながら、利用者情報や課題の共有と共に知恵を出し合いながら活動充実に取り組み。 ・各種委員会活動(感染症対策・虐待防止・リスクマネージメント)を通じて利用者の安全・安心・快適な活動環境作りと、利用者の権利擁護意識の育成に取り組み。	
・各職員の経験やスキルに応じた内外の研修の機会を設定し各職員のスキルアップを図る。コロナ状況によってはWEBでの研修を主に調整する。また、重度領域利用者に対する介護スキルにも取り組み。 ・各利用者の支援課題を、担当者～リーダー～役職間で課題を共有し、アプローチャ方法等も全体で確認しながら対応する。その一連の取り組みを通じて役職者のSV機能を強化する。 ・療育環境の整備のため現場と確認しながら療育器材(プロジェクター・ビーズクッション・ソファ等)を整備する。	
・開設以来継続使用しているエレベーターについては主要部品(基盤以外)の交換を推奨されているため、令和4年度には工事を実施し利用者の安全性を担保する。また、エアコンについては毎年のように主要部品の不具合が発生しているために今年度全体的な補修工事を実施するとともに、今後3～5年の業者補償を担保する。	

行動計画 事業所名 (サポートセンター翔)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	○新規利用者(いなみの支援学校卒)の受け入れ	いなみの支援学校卒業生(1名)の受け入れ											
	○いなみの支援学校とのライン作り	在校生の現場実習や進路実習、保護者等の見学などにもその都度出来るだけ受け入れる											
	○感染症(コロナ)対策の継続	感染症対策委員会の実施と感染対策(検温・消毒・3密・換気等々)の継続											
②	○各種会議の定期開催と連動	管理者～役職者～各グループ会議を出来るだけ定時に開催し課題の共有と対策実施を通じて風通しの良い職場作りに繋げる											
	○利用者活動の課題への対応	利用者活動プログラムについて現場～役職間で課題共有 役職～現場への具体策の提示と試行実施											
	○各種委員会活動の実施	リスクマネジメント委員会・虐待防止委員会(身体拘束含む)の定期実施による安全快適な環境作り(概ね2ヶ月に1回)											
③	○WEB等を含む外部研修への参加	各職員へ出来るだけ外部研修の機会を設けスキルアップを図る											
	○利用者支援に対する役職やのSV機能を強化する	各利用者の支援課題等の役職者による課題共有と検討 協議結果からの具体的なアプローチ等の現場へのSV実施											
	○療育環境の整備	現場からのニーズを確認しながら療育器材(プロジェクター・ソファ等)を整備する											
④	○老朽化している施設設備の整備や改修を進める	エアコン修理の実施 エレベーター工事の実施											

令和4年度 社会福祉法人明桜会 サポートセンター翔 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	金 新年度式	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
2	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
3	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金
4	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土
5	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日
6	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月
7	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火
8	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
9	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
10	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金
11	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土
12	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日
13	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月
14	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火
15	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
16	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
17	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金
18	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土
19	火	木	日	火	金	月	土	月	月	木	日	日
20	水	金	月	水	土	火	日	日	火	金	月	月
21	木	土	火	木	日	水	月	月	水	土	火	火
22	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
23	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
24	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金
25	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土
26	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日
27	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月
28	木	土	火	木	日	水	月	月	水	土	火	火
29	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
30	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
31	日	火	土	日	水	土	月	木	土	火	金	金
備考	新年度式 工賃支給月		避難訓練	工賃支給月	健康診断(予定) (仮)お疲れ様会	避難訓練	工賃支給月 障科検診(予定) 障害者交流運動会 (予定) (仮)お疲れ様会	避難訓練 インフルエンザ 予防接種 養成会/ASPA(予 定)	翔クリスマス会	工賃支給月		(仮)お疲れ様会
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	22	22	20	23
休止日数	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	8	8
備考	※グループ旅行などの外出行事は状況に合わせて時期や内容を検討し企画いたします。											

## □サポートセンター曙

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名                   サポートセンター曙
- (2) 設置場所                 兵庫県明石市大久保町西脇 726
- (3) 提供するサービスと利用定員  
就労移行支援事業所こねくと 15 名
- (4) 職員定数
  - 管理者                   1 名
  - サービス管理責任者 1 名(副主任)
  - 就労支援員               1 名
  - 職業指導員               1 名
  - 生活支援員               2 名(1.5 名)
  - 心理士                    1 名(0.1 名)

### 2. 基本方針

- (1) 「あたりまえにはたらく」ことの実現のために、中間的な評価として企業体験を実施し、ご家族の思いやご利用者に応じた就労先を提供していく。
- (2) 社会状況に応じた就労支援を実施し、その人の状況に応じて早い対応を意識した継続支援を行う。
- (3) グループホームを利用されている方に対して関係事業所と連携し、安定した職業生活を送れるよう支援をしていく。
- (4) 地域の中学校や特別支援学校・児童サービスと情報交換を行い、近い将来に向け安心して進路選択ができるような機会を提供していく。
- (5) 多機能型サービスを生かした日中活動を模索し、様々なしごとの場面を提供していく。

### 3. 活動内容

- (1) 作業活動や企業実習・座学・SST・個別面談等をとおして就労に必要なスキルの積重ねをしていく。
- (2) 個性を生かせる就労先を提供し、就労後も職業生活全般の支援を行い生活支援も含めた就労支援を進める。
- (3) 「卒業生と話そう」～就労者講演会を年 4 回実施し、ご利用者の就労意識向上と企業への雇用啓発につなげていく。
- (4) 特別支援学校や地域の中学校との交流を図り、夏休みを利用した「親子体験実習」の実施と合わせて「就労セミナー～はたらく準備」を開催する。
- (5) 就労の際に定着支援事業の趣旨を伝え、継続就労に向け、ご利用者やご家族の安心と合わせ企業との連携を進める。

### 4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 5. 地域交流計画

上西厚生館芋ほり

障害者交流運動会

育成会クリスマス会

自立支援協議会

東播磨障害者施設ネットワーク

山手地区社会福祉協議会・山手校区まちづくり協議会

6. 防犯・防災計画

避難訓練 1回/2ヶ月

法人全体避難訓練 1回/年

7. 年間予定表(別紙参照)

<p><b>今年度の目標</b></p>	<p>①ご利用者が社会の中で活躍できる場を提供していく。                  ②支援学校及び支援学級との交流の場をつくり、法人として明石市内の障害者就労の啓発に努める。                  ③啓発活動をおおして利用者確保に努め、事業所全体で収益意識をしていく。                  ④多機能型の就労系事業所として日中活動における作業経験の場を事業所内で展開していく。</p>
----------------------	--

<p><b>具体的な方法</b></p>	
<p><b>優先度</b></p>	
<p><b>目標達成のために実施する事</b></p>	
<p>①</p>	<p>雇用前実習や職場体験実習の場の確保のため職場開拓に努める。                  ハローワーク・関係企業・支援センターあくと等と連携し、情報収集を行いサービス利用2年目のご利用者を中心に一人2社以上の体験実習の場を提供する。</p>
<p>②</p>	<p>「働く準備としての校外学習」「夏休み親子体験実習」を実施し、障害者があたりまえに働くことを実践していく。                  年3回程度、近隣中学(現在2校)の特別支援学級の校外学習として交流を持ち、将来の進路を考える機会とする。また夏休みを利用して親子体験実習をおおして特別支援学校との交流を深め、福祉サービスを知る機会を提供していくき明桜会として就労移行支援サービスに努める。</p>
<p>③</p>	<p>「地域であたりまえにはたらく」ことを広く発信する機会として「啓発セミナー」(仮)を実施していく。                  こねくとまたはコットンベール・学校等を利用して学生・児童ご家族に広報しこねくとでの就労支援の取り組みを知っていただく進路の選択肢にしていきたい。特に4月時点でのご利用者確保に視点を置き事業所全体で収益意識を持つ。</p>
<p>④</p>	<p>多機能型としての機能を充実させて日中活動プログラムの共有を通して、働く場面の機会を提供していく。                  就労継続B型を利用し食品製造・配達・販売などの実習をおおして働くための準備としてのスキルアップを図る。</p>

行動計画 事業所名 (サポートセンター曙 こねくと)

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	就労に向けた事前実習・雇用に向けた雇用前実習を実施。		実施予定確認	体験実習実施・雇用前実習	体験実習実施・雇用前実習	中間評価と下半期のスケジュール確認。	体験実習実施・雇用前実習	今年度の就労者の確認と次年度受け入れ確認						
②	見学・体験実習の実施。		日程・内容確認	親子体験実習案内と準備	親子体験実習案内と学校との交流授業	親子体験実習・地域中学校との交流授業								
③	啓発活動としての「働く準備」(仮)セミナー実施。		日程・内容確認			第一回就労セミナー実施			第二回就労セミナー実施					
④	一体型としての活動実施。 ※随時実施		←											→

## □サポートセンター曙

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名                   サポートセンター曙
- (2) 設置場所                 兵庫県明石市大久保町西脇 726
- (3) 提供するサービスと利用定員  
就労継続支援 B 型事業所のぞみ       20 名
- (4) 職員定数  
管理者                   1 名  
サービス管理責任者   1 名  
職業指導員             1 名  
生活支援員             3 名(3.3 名)

### 2. 基本方針

- (1) その人にあった作業活動を提供し、働くことでの充実感と、より多い工賃向上に努める。
- (2) 地区社会福祉協議会との連携による地域農園「ぴあファーム」の収穫・販売に参加し、地域住民や関係者との交流を図る。
- (3) 近隣保育所・高齢者施設への商品 PR を行い販売・配達をとおして地域交流を進める。
- (4) 地域の中学校や児童サービス等の見学・親子体験実習を実施し、地域の方に活動を広く知っていただく。

### 3. 活動内容

- (1) 菓子製造販売、配達、農作業、内職作業等をとおしてご利用者に働くことでの充実感を提供する。
- (2) 商品 PR を含め近隣へ事業所・商品のリーフレットのポスティングを実施し、地域の方へ「のぞみ」を知っていただく。
- (3) 工賃向上に向け地域の保育所・高齢者施設への訪問販売を実施していく。
- (4) 感染対策に留意しながら、社会状況に応じた販売活動に積極的に参加する。
- (5) 夏休み期間を利用して、障害をお持ちのご家族に福祉サービスを知っていただくための見学・体験実習を実施し社会資源としての役割に努める。

### 4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 5. 地域交流計画

- 上西厚生館芋ほり
- 障害者交流運動会
- 育成会クリスマス会
- 自立支援協議会
- 東播磨障害者施設ネットワークの活動に参加
- 山手地区社会福祉協議会/山手校区まちづくり協議会の活動に参加  
(ぴあファーム・山手まつり等)

6. 防災・防犯計画

避難訓練 1回/2ヶ月

山手地区防災訓練参加

7. 年間予定表(別紙参照)

事業所名 (サポートセンター曙 のぞみ)

<p>今年度の目標</p>	<p>①ご利用者が作業をとおして達成感・充実感を感じられるように活動していく。                  ②日中活動の充実に伴い作業工賃の向上を事業所全体で意識していく。                  ③日中活動をとおして近隣の方々との交流を図れるようにPR活動を実施する。                  ④社会資源として学校・福祉との連携を図り、地域においての周知を進めて行く。</p>
---------------	--

<p>具体的な方法</p>	
<p>優先度</p>	<p>極力難易度の考慮や納期の余裕があるものを探していく。また現在の明石焼きセット作業を拡大し、地場産業を利用して施設PRを実施していく。またそれぞれの内職作業においてご利用者のできることを発見し充実させていく。</p>
<p>①</p>	<p>作業内容の充実と作業の役割分担を図る。</p>
<p>②</p>	<p>内職作業や販売活動を充実させていき工賃向上を意識した活動をしていく。</p>
<p>③</p>	<p>地域の農園作業やお客様への配達をとおして社会で触れ合う機会を提供し「のぞみ」を多くの人にPRしていく。</p>
<p>④</p>	<p>夏休みの親子体験実習や近隣中学校との交流授業を実施。</p>
	<p>「びあファーム」での収穫・販売・イベント参加をしていく。また地域の高齢者施設・児童施設・福祉施設へ商品紹介を行い季節行事に合わせた商品のPR活動を実施していく。</p>
	<p>販売活動の充実を目的に、地域への商品PRや地域イベントへ積極的に参加し売上を確保していく。社会情勢も含め、目標として昨年度の平均工賃(R3.11月現在 約5000円)はクリアーしていく。作業活動を充実させていく。</p>
	<p>夏休みの親子体験実習の案内エリアの拡大、特別支援学級生徒たちとの交流(見学・作業・イベント販売等)を増やすことで多くの生徒たちやご家族にも活動を知っていただく機会とする。</p>

行動計画 事業所名 (サポートセンター曙 のぞみ)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	作業内容の充実とご利用者の活動の場を広げる。	←											→
		農園作業・明石焼き材料のセットアップ・施設外作業(博由園除草作業)・その他作業開拓											
②	作業をおとした地域交流活動の実施。	←											→
		地域農園作業(ぴあファーム)での交流イベントの参加 ・イベント販売など地域活動を充実させる											
③	地域の中学校・特別支援学校との交流を図る。	日程・内容 確認		親子体験 実習案内と 準備	親子体験実習・地域中 学校との交流授業			地域中学 校との交流 授業		地域中学 校との交流 授業			振り返りと次年度予定

## □サポートセンター曙

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名                   サポートセンター曙
- (2) 設置場所                 兵庫県明石市大久保町西脇 726
- (3) 提供するサービスと利用定員  
就労定着支援事業所こねくと 20 名(過去 3 年間の就労実績による)
- (4) 職員定数  
管理者                   1 名  
サービス管理責任者 1 名  
就労定着支援員         1 名(1.0)

### 2. 基本方針

- (1) 職業生活に伴う生活面全般の課題に対して企業や自宅等への訪問や電話・来所相談をとおしてその人に応じた継続就労のための支援を行う。
- (2) 就労定着支援該当者(契約者)は就労 6 ヶ月後の 3 年間をサービス期間とし、ご家族・企業と情報共有をしながら継続就労に努める。
- (3) 就労移行支援事業と定着支援事業が情報共有を図り、ご本人・ご家族・企業への安心を提供し続けていく。
- (4) ご本人との定期的な面談を通じて生活面の課題や仕事面での不安を把握し解決を促す。  
(生活リズム・家計(浪費)・体調管理・遅刻・欠勤・身だしなみ・マナー・投薬管理等)

### 3. 活動内容

- (1) 感染対策を踏まえ訪問面談・車中面談・電話対応・メール等、社会状況に応じた就労定着支援を実施する。
- (2) 医療機関、基幹相談支援センター、明石市障害者就労・生活支援センター等関係機関と連携し課題解決を行う。
- (3) 企業担当者と連携し、ご利用者の障害特性に対する配慮が必要な場面やご家庭への連絡等を随時伝えていく。
- (4) 余暇利用として月 1 回「明石市総合福祉センター新館」を利用して就労者が休日に集まる場、また語らいの場として「就労者の集い」の参加を進め、感染対策に留意しながら適時レクリエーションの企画・実施し余暇の充実をしていく。

### 4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 5. 地域交流計画

やまてまつり

明石市総合福祉センター新館でのスポーツ活動

### 6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名 (サポートセンター曙 定着支援事業)

<p><b>今年度の目標</b></p>	<p>①定着支援事業に必要な知識を向上させていく。                  ②サービス提供期間を利用し、ご家族との気持ちの共有や企業との信頼関係を構築させていく。                  ③月一回以上の面談を大切にし、ご利用者の気持ちの動きを感じ取る。                  ④休日の過ごし方の提案をご利用者と一緒に考えていく。</p>
----------------------	--

<p><b>具体的な方法</b></p>	
<p><b>優先度</b></p>	
<p>①</p>	<p>目標達成のために実施する事                  ご家族・ご利用者・企業担当者との面談を充実させていく。                  関係者とのコミュニケーションに必要な話す力・アセスメントスキルを向上させていき、的確に情報収集をしていく。</p>
<p>②</p>	<p>ご家庭と企業とのパイプ役としての信頼関係をつくっていく。                  情報共有・情報交換を中心に本人・企業の安心を基本とした関係作りしていく。</p>
<p>③</p>	<p>サービス期間3年を利用し、生活場面の把握や家と会社での気持ちの変化等をくみ取り就労継続に努める。                  家族・企業との信頼関係を結び継続就労に向けての流れをつくっていく。またサービス終了後も職業生活全般において継続支援を実施する。</p>
<p>④</p>	<p>一人での参加や友人との参加など場所の提案や金銭の把握などを一緒に考えていく。                  基本月一回、明石市総合福祉センター新館での室内スポーツの利用や、市内の遊戯・観光・食事などそれぞれ自身の生活や趣味に合わせた活動場所を増やしていく。</p>

行動計画 事業所名（サポートセンター曙 定着支援事業）

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	家族・企業に伝える力を向上させる。	← アセスメント力の向上のための経験値を高めるため内部・外部研修の参加。 →											
②	企業との情報交換を大切にし、家族と企業とのパイプを強くしていく。	← レクレーションや面談時の内容を「支援レポート」をとおして企業に伝え、仕事を離れた場面の様子を丁寧に説明していく。 →											
③	サービス終了後も安心した就労定着につないでいく。	← ご利用者にとって安心してできる職業生活のための継続的なアドバイスをしていく。 →											
④	休日の過ごし方、仲間との付き合い方などを社会の中で実践していく。	← 基本、月に一回休日の過ごす方法を経験する場として提案していく。 →											

令和4年度 社会福祉法人明桜会 サポートセンター曙 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	金 入所式	日	水	金	月	木	土	火	木	日 元旦	水	水
2	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月 年始休暇	木	木
3	日	火 憲法記念日	金	日	水	土	木 文化の日	木	土	火 年始休暇	金	金
4	月	水 みどりの日	土	月	木	日	金	金	日	水	土	土
5	火	木 こどもの日	日	火	金	月	土	土	月	木	日	日
6	水	金	月	水	土	火	日	日	火	金	月	月
7	木	土 開所日	火	木	日	水	月	月	水	土 開所日	火	火
8	金	日 業務共有会議	水	金	日	木	火 開所日	火	木	日 業務共有会議	水	水 業務共有会議
9	土	月	木	土	火	金	日 月スポーツの日	水 業務共有会議	金	月 成人の日	木	木
10	日	火 業務共有会議	金	日	水 業務共有会議	土	木	金	土	火	金	金
11	月	水 業務共有会議	土	月	木	日	火 業務共有会議	金	日	水 業務共有会議	土	土
12	火	木	日	火	金	月	土	土	月	日	日	日
13	水 業務共有会議	金	月	水 業務共有会議	土	火	日	日	火	金	月	月
14	木	土 開所日	火	木	日	水	月	月	水 業務共有会議	土	火	火
15	金	日	水	金	月	土	火	日	木	日	水	水
16	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
17	日	火	金	日	水	土	木	木	土	火	金	金
18	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土
19	火	木	日	火	金	月	土	土	月	木	日	日
20	水	金	月	水	土	火	日	日	火	金	月	月
21	木	土	火	木	日	水	月	月	水	土 産待防止委員会	火	火
22	金	日	水	金	月	土	火 産待防止委員会	火	木	日	水	水
23	土 産待防止委員会	月	木	土 産待防止委員会	火	金	日 水 勤労感謝の日	金	土	月	木	木
24	日	火	金	日	水	土	木	土	日	火	金	金
25	月	水	土	月	木	日	金	金	日	水	土	土
26	火	木	日	火	金	月	土	土	月	木	日	日
27	水	金	月	水	土	火	日	日	火	金	月	月
28	木	土	火	木	日	水	月	月	水	土	火	火
29	金 昭和の日	日	水	金	月	土	火	日	木	日	水	水
30	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
31	日	火	日	日	水	土	月	土	日	火	日	金
備考	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者08会(予定) ※随時販売	就労者の集い 育成会クリスマス マス会 ※随時販売	就労者の集い こねくと・のぞみクリスマス マス会 ※随時販売	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション ※随時販売
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	22	22	20	23
休止日数	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9	9	9	10	10	8	9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	金 入所式	日	水	金	月	木
2	土	月	木	土	火	金
3	日	火 憲法記念日	金	日	水	土
4	月	水 みどりの日	土	月	木	日
5	火	木 こどもの日	日	火	金	月
6	水	金	月	水	土	火
7	木	土 開所日	火	木	日	水
8	金	日 業務共有会議	水	金	月	土
9	土	月	木	土	火	金
10	日	火 業務共有会議	金	日	水 業務共有会議	土 開所日
11	月	水 業務共有会議	土	月	木	日
12	火	木	日	火	金	月
13	水 業務共有会議	金	月	水 業務共有会議	土	火
14	木	土 開所日	火	木	日	水 業務共有会議
15	金	日	水	金	月	土
16	土	月	木	土	火	金
17	日	火	金	日	水	土
18	月	水	土	月	木	日
19	火	木	日	火	金	月 敬老の日
20	水	金	月	水	土	火
21	木	土	火	木	日	水
22	金	日	水	金	月	土
23	土 産待防止委員会	月	木	土 産待防止委員会	火	金 秋分の日
24	日	火	金	日	水	土
25	月	水	土	月	木	日
26	火	木	日	火	金	月
27	水	金	月	水	土	火
28	木	土	火	木	日	水
29	金 昭和の日	日	水	金	月	土
30	土	月	木	土	火	金
31	日	火	日	日	水	土
備考	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	就労者の集い レクレーション	グループ遠足 (予定) ※随時販売
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

## □サポートセンター貴和

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名 就労継続支援 B 型事業所サポートセンター貴和
- (2) 設置場所 兵庫県明石市田町 2 丁目 3-3
- (3) 提供するサービスと利用定員  
就労継続支援 B 型 25 名
- (4) 職員定数  
管理者 1 名  
サービス管理責任者 1 名(管理者兼務)  
職業指導員 1 名(常勤)  
生活支援員 3 名(2.8 名)

### 2. 基本方針

- (1) 貴和の名称の由来でもある「和をもって貴しとなす」の考えを柱とし、皆仲良く、互いの尊敬を忘れず、共に成長できる関係を築く。
- (2) 就労継続支援 B 型として、ご利用者の働きたいという思いに応える環境を構築し続ける。
- (3) 「自分で働き、自分で給料を稼ぐ」という経験を積み重ね、それがご利用者の尊厳と自信に繋がるよう支援する。
- (4) 厳しい働きと楽しい働きの両面を提供し、ご利用者に選んでもらえる事業所を目指す。
- (5) 地域を知り、地域に出向き、地域を迎え入れ、貴和及び新館が地域の一員として存在できるように努める。

### 3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 4. 活動内容

- (1) 作業活動(下請け活動-新作業への取り組み、アンテナ部品組立作業、値札付け作業、缶バッチ部品組立作業、タオル畳み作業、部品梱包作業、自主生産作業、公園灌水花植え、新館清掃及びインストラクター補助業務)
- (2) 社会的活動(外出活動-年 2 回、日帰り旅行 1 回、バザー活動-年 2 回)
- (3) 余暇活動(年中行事、誕生会、お疲れ様会、土曜日余暇)
- (4) 実習体験等活動(法人内実習、他事業所見学・実習)
- (5) 外部実習生の受け入れ(特別支援学校実習、介護等体験実習、親子体験会)
- (6) 防災活動(火災・地震・水害避難訓練-毎月、シェイクアウト訓練-1 月、連絡手段の定期的活用)
- (7) 健康管理(健康診断・歯科検診-10 月、感染予防・手洗いうがい、衛生管理)
- (8) 事業所外の支援(生活介護・介護保険事業所の活用)

(9) その他

- ① 保護者会-年 5 回(法人及び貴和活動の報告と連携)
- ② 緊急時対応

(10) 活動時間

① 作業所活動時間

- 9:00～ 朝礼
- 9:15～ 作業・社会的活動(10:30 休憩)
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 作業・社会的・余暇活動(14:15 休憩)
- 15:15～ 掃除
- 15:30～ 終礼
- 16:00 退所

② 新館清掃作業活動時間

- 9:00～ 作業準備
- 9:05～ 清掃作業・インストラクター補助(10:30 休憩)
- 12:30～ 昼食
- 13:30～ 清掃作業・インストラクター補助(14:30 休憩)
- 15:50～ 片付け
- 16:00 退館

5. 地域交流計画

- (1) 地域の実状を調査
- (2) 地域住民との挨拶活動
- (3) 衣川コミセンの活動への参加
- (4) 林小学校区総合防災訓練への参加
- (5) 作業所近隣の清掃活動
- (6) 衣川コミセンまつりへの参加、コープ祭りへの参加
- (7) 新館近隣住民への利用促進活動(チラシのポスティング等)

6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名 (サポーターセンター 貴和)

今年度の目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んでもらえる事業所展開</li> <li>・新館のさらなる発展</li> <li>・地域との繋がりの強化</li> <li>・職員の育成</li> </ul>
優先度	目標達成のために実施する事
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援B型事業所として、利用したいと思える魅力を深める</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新館利用者の獲得及びユニバーサルスポーツの普及</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を知り、地域に向き、地域を迎え入れる</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な経験と知識獲得</li> </ul>

具体的な方法

- ・定員を20名から25名に変更したことから、今後安定した経営を行うにあたり利用者獲得が必須となる。そのため、まずは就労継続支援B型としての貴和の利用価値を高め、そして多くの人知ってもらう機会を作る。
- ・利用者の空きの手空きの出来ない充実した作業提供
- ・一般就労を目指した取り組みの提供
- ・貴和の令和3年度平均工賃と比較し、利用者工賃の向上又は維持
- ・夏休み期間の8月に、支援学校を対象にした体験会の実施(従来の作業体験に加え、新館でのスポーツ体験も実施)
- ・ニーズに沿った事業内容の実施。来館者及び福祉事業所(団体)に対して幅広くアンケートを実施し、その要望を参考にした事業内容への定期的なリニューアルを実施。(「新館だより」にアンケートを同封)
- ・福祉事業所を対象に出張教室の実施。インストラクターが福祉事業所等に向いて教室等を行い、一人でも多くの方にユニバーサルスポーツの知ってもらい、また楽しさを体感してもらおう。そこから、明石市での競技人口の増加や新館利用に繋げる。
- ・作業所と新館の設置地域を知るために、長い期間その地域で暮らしている方からの情報収集(歴史、人口、世帯構造、年代比率、活動状況、地域が望んでいること等)。
- ・地域と繋がっている福祉事業所(障害者施設だけに限らず、高齢者施設等も含む)での取り組みを調べる。
- ・顔や存在を知ってもらうことを第一に考え、挨拶し合える場所への参加。(地域のゴミ拾い・地域の散策・衣川ゴミセンの活動参加 等)
- ・作業所の職員が、様々な作業に取り組み機会を設ける。複数の作業が出来るようにすることで、職員間の相互コミュニケーションの構築に繋げる。
- ・作業所職員、新館職員共に、「働き」や「スポーツ」に関する研修等への参加に拘らず、多様な研修等に参加する機会を設けて広い視野のもてる職員への育成を行う。

行動計画 事業所名 (サポートセンター貴和)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	・新規利用者の獲得	<p>利用者の手空きの出ない作業提供</p> <p>一般就労を目指した取り組みの提供</p> <p>利用者工賃の向上又は維持</p> <p>体験会の実施</p>											
②	・多種多様な経験と知識獲得	<p>様々な作業への取り組み</p> <p>多様な研修会等への参加</p>											
③	・地域の方との接する機会を増やす	<p>地域の実情の情報収集</p> <p>地域と繋がっている福祉事業所等の取り組みを調査</p> <p>顔や存在を知ってもらう機会を作る(地域のごみ拾い・地域への散策・衣川コミセンでの活動の参加 等)</p>											
④	・新館利用者の獲得及びユニバーサルスポーツの普及	<p>新館だより作成</p> <p>卓球バレー大会</p> <p>ポッチャ大会</p> <p>卓球バレー大会</p> <p>新館だより作成</p> <p>卓球バレー大会</p> <p>ポッチャ大会</p> <p>卓球バレー大会</p> <p>体力測定会</p> <p>各種教室 定期開催</p> <p>出張教室</p>											

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	金 新年度式	日	水	金	月	木
2	土	月	木	土	火	金
3	日	火 憲法記念日	金	日	水	土
4	月	水 みどりの日	土	月	木	日
5	火	木 こどもの日	日	火	金	月
6	水	金	月	水	土	火
7	木	土 開所日	火	木	日	水
8	金	日	水	金	月	木
9	土	月	木	土	火	金
10	日	火	金	日	水 前期賞与支給日	土 開所日
11	月	水	土	月	木 山の日	日
12	火	木	日	火	金	月
13	水	金	月	水	土	火
14	木	土 開所日	火	木	日	水
15	金	日	水	金	月	木 避難訓練
16	土	月	木	土	火	金 保護者会
17	日	火 避難訓練	金	日	水 避難訓練	土 開所日
18	月	水	土	月	木 海の日	日
19	火	木	日	火	金	月 敬老の日
20	水	金 保護者会	月	水	土	火
21	木	土 開所日	火	木	日	水
22	金	日	水	金	月	木 工賃支給日
23	土	月	木	土	火	金 秋分の日
24	日	火 開所日	金	日	水 工賃支給日	土
25	月	水 工賃支給日	土	月	木 工賃支給日	日
26	火	木	日	火	金	月
27	水	金	月	水	土	火
28	木	土 開所日	火	木	日	水
29	金	日	水	金	月	木
30	土	月	木	土	火	金
31	日	火	土	日	水	木
備考	お花見		芋の苗植え (上旬)	親子体験会 健康診断		個別懇談
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	土	火	木	日	水	水
2	日	水	金	月	木	木
3	月	木 文化の日	土	火	金	金
4	火	金	日	水	土	土
5	水	土	月	木	日	日
6	木	日	火	金	月	月
7	金	月	水	土 開所日	火	火
8	土	火	木	日	水	水
9	日	水	金	月	木	木
10	月	木 スポーツの日	土	火	金	金
11	火	金	日	水	土 建国記念日	土
12	水	土	月	木	日	日
13	木	日	火	金	月	月
14	金	月	水	土	火	火
15	土	火	木	日	水	水
16	日	水	金	月	木	木 避難訓練
17	月	木 避難訓練	土	火	金 避難訓練	金 保護者会
18	火	金	日	水	土	土
19	水	土	月	木	日	日
20	木	日	火	金	月	月
21	金	月	水	土	火	火 春分の日
22	土	火	木	日	水	水
23	日	水 勤労感謝の日	金	月	木	木 天皇誕生日
24	月	木	土	火	金	金 工賃支給日
25	火	金 工賃支給日	日	水	土	土 開所日
26	水	土	月	木	日	日
27	木	日	火	金	月	月
28	金	月	水	土	火	火
29	土	火	木	日	水	水
30	日	水	金	月	木	木
31	月	木 障害者交流運動会 芋掘りまったり 歯科検診	土	火	金	金
備考	衣川コミセン バザー 日帰り旅行	貴和クリスマス 又年末大掃除	新年会			個別懇談 年度末お疲れ 様会
稼働日数	23	22	22	22	20	23
休止日数	8	8	9	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

## □明石市立総合福祉センター新館障害者スポーツ理解促進・体験事業

### 1. 施設の目的

- (1) 明石市が掲げる「やさしいまちづくり」や「共生社会ホストタウン」の発信拠点として、誰もが  
ができるユニバーサルスポーツを通じて、障害者、児童、高齢者、健常者、地域の人々等、  
年齢や性別や障害の有無や文化の違いに関わらず誰もが楽しく自由に集い、自然に交  
流のできるユニバーサル社会実現に向けての活動拠点をを目指す。
- (2) ユニバーサルスポーツの広報活動に努め、市内における普及と理解促進を図る。
- (3) ユニバーサルスポーツ体験会、教室、交流大会を実施し、障害の有無に関わらず生涯に  
わたってスポーツを楽しめる環境を構築していく。
- (4) 各種競技において、競技者の技術向上を図る。
- (5) 市内に拠点を置く障害者スポーツ団体とネットワークを構築し、広く障害者スポーツの振  
興に寄与する。
- (6) 壁面などを利用し障害者アート等を展示し、障害者の文化活動の振興に寄与する。
- (7) 障害者の就労支援に寄与する。

2. 設置場所 明石市貴崎 1 丁目 5 番 46 号

3. 活動場所 明石市立総合福祉センター新館全館及び施設外多目的広場

### 4. 開館時間及び休館日

月曜日～土曜日午前 9 時～午後 9 時

日曜日・祝日午前 9 時～午後 5 時

休館日 12 月 29 日～1 月 3 日

\* 設備等のメンテナンスの時は臨時休館とする場合あり

### 5. 職員

受付及びスポーツインストラクター職員 3 名(交代制)

清掃及びスポーツインストラクター補助

[月～金]障害者 1～2 名

[土日祝]職員 1～2 名

### 6. 活動内容

[常時活動]

施設内 1 階多目的ホール

車いす卓球・卓球・卓球バレー・ポッチャ・フライングディスク・車いすバスケ・STT・ストラックアウ  
ト・シッティングバレー・ふうせんバレー・ブラインドサッカー・モルック等

[週別体験交流会]

※1

毎週木曜日(13:30～14:30)

ユニバーサルスポーツ教室及びレクリエーション

※2

第 2・4 火曜日(10:30～11:30)

明石市スポーツ推進委員会協力による健康体操 & ACE ボール教室

※3

第 3 土曜日(13:30～14:30)

明石市スポーツ推進委員会協力によるウォーキング教室

※4

第 2・第 4 日曜日(10:00～11:30)未定

兵庫県レクリエーション協会協力による健康スポレクひろば

※5

第 1・3 土曜日

スペシャルオリンピックス活動

卓球(9:30～12:00)

水泳(14:30～16:30)

スペシャルオリンピックスユニファイドサッカー(12:30～16:00)

[年間体験交流会]

ポッチャ交流大会(2回)

卓球バレー交流大会(2回)

[その他活動]

- ・ 市民及び福祉事業所が望むアンケートの実施(2回)
- ・ 体力測定会(1回)
- ・ 新館だより発行(2回)
- ・ 障害者団体及び市民に対する広報普及活動
- ・ 市内、東播地域、県等の障害者スポーツ団体との連絡調整
- ・ 出張ユニバーサルスポーツ教室
- ・ 館内清掃(障害者の就労支援)

#### 7. 職員配置等週間予定

曜日	スポーツインストラクター			受付・事務	清掃及びインストラクター補助職員	週別体験交流会
	8:30～17:30	12:00～21:00	17:00～21:00			
月	職員A		職員C	総務職員	障害者1～2名	
火	職員A		職員C	総務職員	障害者1～2名	※2
水	職員A	職員B		総務職員	障害者1～2名	
木	職員A	職員B		総務職員	障害者1～2名	※1
金	職員A	職員B		総務職員	障害者1～2名	
土	職員B	職員C			職員B/C	※3 ※5
日	職員B/C				職員B/C	※4

## □サポートセンター双葉

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名 生活介護事業所サポートセンター双葉
- (2) 設置場所 明石市二見町西二見 605-2
- (3) 提供するサービスと利用定員
  - 生活介護 22名(定員20名)
- (4) 職員定数
  - 管理者 1名
  - サービス管理責任者 1名(管理者兼務)
  - 生活支援員(常勤換算) 4.9名
  - 看護師 1名
  - 機能訓練指導員 1名(看護師兼務)
  - 嘱託医 1名

### 2. 基本方針

【ご利用者一人ひとりのQOLを高めていく=何よりも大切にすべきは、ただ生きることではなく、よく生きること=】

双葉においては、一人ひとりがより自分らしく生きていくため、QOL(生活・人生の質)の向上を常に意識し、同時に専門職として常に“何をすべきか”を考え、ご利用者の望む暮らしの実現に向けチームとして支援していきます。

### 3. 重点目標及び行動計画

(別紙参照)

### 4. 活動内容

#### (1) 作業活動

##### ① 下請け作業

マスキ・公園花壇管理

##### ② 自主生産作業

手工芸・農園芸

#### (2) 体育的活動

##### ① 散策活動

ご利用者の体力に応じてグループに分けて実施(週1回程度)

##### ② ダイエットプログラム(試行)

延長利用をされるご利用者で減量の必要のある方は、利用時に体を動かす(散策な

ど)機会を提供。

(3) 余暇活動

① 行事

季節に応じた外出行事や館内行事など(月1回程度)

② 個別外出

とくに新型コロナ感染症には注意しながら、ご利用者の望む外出を実施

③ サテライト(大地の家出張所)を利用した取り組み

調理・リラクゼーション・療育活動など

(4) 健康管理

① 感染症対策

館内消毒の実施(毎日)

② 健康診断(1回/年)

③ 体重・血圧測定(1回/月)

(5) その他

① 利用者自治会の実施(1回/3ヵ月)

② 実習受け入れ

③ 防災活動

避難訓練の実施(1回/2ヵ月)

防災チェックの実施(1回/2ヵ月)

5. 地域交流計画

(1) 二見西コミュニティ推進協議会との連携

二見西コミセンと連絡を密にし、地域と交わる催し等に積極的に参加します。

(2) 二見西まちづくり協議会への参画

活動の活性化を図ろうとしている“まちづくり協議会”に参画することで、まずは「つながり」を拡げていく。そのうえで、地域の方の障害福祉に対する啓発活動を行う足掛かりを作っていく。

6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名 (サポートセンター双葉)

<b>今年度の目標</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①職員は専門職としての自覚を持ちます</li> <li>②ご利用者やご家族の安心を支えます</li> <li>③二見西地域において障害についての啓発を行います</li> </ul>
<b>優先度</b>	<b>目標達成のために実施する事</b>	<b>具体的な方法</b>
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員を育成する</li> <li>・支援力を向上させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月・12月に半日集中会議を実施する。併せて支援に関する勉強会も実施する。</li> <li>・アセスメントを強化(エンパワメント-主体的に生きる力-)を引き出していく視点で支援する)。意思形成支援(選択の幅を広げる)と意思決定支援の取り組みを継続。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスに関するアンケートを実施</li> <li>・利用者自治会を開催</li> <li>・保護者会・勉強会を開催</li> <li>・安定した運営を維持する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に向け年2回(7月・12月)アンケートを取り分析し、今後の運営に活かしていく。</li> <li>・利用者自治会を発足し、3か月に一度開催。利用者の意見を抽出し今後の支援に活かしていく。</li> <li>・保護者会を年4回程度設定し、必要としているテーマの勉強会を企画。併せて必要な情報等を提供していく。</li> <li>・月平均稼働率が80%以上維持できるように管理する。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に地域活動に参加していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二見西コミュニティ推進協議会とイベントを軸に連携していく。</li> <li>・新たに動き出す二見西まちづくり協議会への参加。</li> <li>・地域の清掃活動を自主的に行う。</li> </ul>

行動計画 事業所名 (サポートセンター双葉)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員を育成する</li> <li>支援力を向上させる</li> </ul>					集中会議 支援勉強会				集中会議 支援勉強会			
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスに関するアンケートを実施</li> <li>利用者自治会を開催</li> <li>保護者会・勉強会を開催</li> <li>安定した運営を維持する</li> </ul>	自治会 保護者会			アンケート 自治会	保護者会 勉強会		自治会		アンケート 保護者会 勉強会	自治会		保護者会
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に地域活動に参加していく</li> </ul>	コミセン・まち協参加 地域清掃(不定期)											

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	金 辞令交付式	日	水	金	月	木
2	土	月	木	土	火	金
3	日	火	金	日	水	土
4	月	水	土	月	木	日
5	火	木	日	火	金	月
6	水	金	月	水	土	火
7	木	土	火	木	日	水
8	金	日	水	金	月	木
9	土	月	木	土	火	金
10	日	火	金	日	水	土
11	月	水	土	月	木	日
12	火	木	日	火	金	月
13	水	金	月	水	土	火
14	木	土	火	木	日	水
15	金	日	水	金	月	木
16	土	月	木	土	火	金
17	日	火	金	日	水	土
18	月	水	土	月	木	日
19	火	木	日	火	金	月
20	水	金	月	水	土	火
21	木	土	火	木	日	水
22	金	日	水	金	月	木
23	土	月	木	土	火	金
24	日	火	金	日	水	土
25	月	水	土	月	木	日
26	火	木	日	火	金	月
27	水	金	月	水	土	火
28	木	土	火	木	日	水
29	金	日	水	金	月	木
30	土	月	木	土	火	金
31	日	火	金	日	水	土
備考	花見	新緑ハイキング		ひまわり外出	健康診断	コスモス外出
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	土	火	木	日	水	水
2	日	水	金	月	木	木
3	月	木	土	火	金	金
4	火	金	日	水	土	土
5	水	土	月	木	日	日
6	木	日	火	金	月	月
7	金	月	水	土	火	火
8	土	火	木	日	水	水
9	日	水	金	月	木	木
10	月	木	土	火	金	金
11	火	金	日	水	土	土
12	水	土	月	木	日	日
13	木	日	火	金	月	月
14	金	月	水	土	火	火
15	土	火	木	日	水	水
16	日	水	金	月	木	木
17	月	木	土	火	金	金
18	火	金	日	水	土	土
19	水	土	月	木	日	日
20	木	日	火	金	月	月
21	金	月	水	土	火	火
22	土	火	木	日	水	水
23	日	水	金	月	木	木
24	月	木	土	火	金	金
25	火	金	日	水	土	土
26	水	土	月	木	日	日
27	木	日	火	金	月	月
28	金	月	水	土	火	火
29	土	火	木	日	水	水
30	日	水	金	月	木	木
31	月	木	土	火	金	金
備考				初詣	個別懇談会	おつかれさま会
稼働日数	23	22	22	22	20	23
休止日数	8	8	9	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

## □やまゆりの家

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名 共同生活援助事業やまゆりの家
- (2) 設置場所 第 1:大久保町高丘 3 丁目-3-1  
第 2:西明石東町 14-10  
第 3:魚住町西岡 540-2  
第 4:大久保町大窪 2489 県営明石第 2 鉄筋 105 号室/106 号室  
第 5:大久保町大窪 2242-1  
第 6:貴崎 2 丁目 17-9 市営貴崎団地 9 号棟 101 号室/102 号室  
第 7:大久保町松蔭 99-1  
第 8:貴崎 2 丁目 17-9 市営貴崎団地 10 号棟 101 号室  
第 9:貴崎 2 丁目 17-9 市営貴崎団地 10 号棟 102 号室

(3) 提供するサービスと利用定員

共同生活援助事業利用定員 48 名

- |        |     |
|--------|-----|
| 第 1:男性 | 5 名 |
| 第 2:男性 | 7 名 |
| 第 3:女性 | 5 名 |
| 第 4:男性 | 5 名 |
| 第 5:女性 | 5 名 |
| 第 6:男性 | 6 名 |
| 第 7:男性 | 6 名 |
| 第 8:男性 | 4 名 |
| 第 9:男性 | 5 名 |

(4) 職員定数

- |                  |      |
|------------------|------|
| 管理者(サビ菅兼務)       | 1 名  |
| サービス管理責任者(支援員兼務) | 1 名  |
| 生活支援員            | 9 名  |
| 看護師              | 2 名  |
| 世話人              | 34 名 |

### 2. 基本方針

- (1) ご利用者の望み・夢・未来への想いに向き合い寄り添う
- (2) ご利用者の暮らしを包括的な支援と資源で支える
- (3) ご利用者が必要とする支援を提供できる体制と人材を育む
- (4) ご利用者・家族・地域に信頼されるホームとなる
- (5) ポジティブな住まいの選択を提案する

### 3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

#### 4. 活動内容

- (1) アセスメントの強化を図り、ご利用者の望みや想いに沿った支援を展開する
- (2) ご利用者の目線に立ち、その方の意思の形成と表出が行える体制を築く
- (3) ご利用者が安心且つ快適な環境づくりと、包括的な支援を行う為の多種連携を図る
- (4) ご利用者の尊厳を遵守し、ご利用者の立場に立った行動がとれる人材を育てる
- (5) ご近所、自治会、地域を知る。またホームを知って頂く
- (6) 多様な暮らし方を学び提案し実践に繋げる。親亡き後ではなく「自らの住まいを考える」風土を培う
- (7) 第1 やまゆりの家老朽化に伴う閉所手続きと、ご利用者の転居をスムーズに執り行う
- (8) 新設する第8・第9 やまゆりの家の運営を安定させる。特に第9 やまゆりの家は「自分に適した暮らし方」のテーマに沿った支援を展開する
- (9) 新型コロナウイルス対策を継続しつつ、柔軟に with コロナに適した生活様式を取り入れる
- (10) 単身生活移行者へのバックアップ体制を強化する
- (11) ホームご利用者の当事者団体として「あそび隊」を発足する。余暇活動を中心とした自発的な活動をバックアップする

#### 5. 地域交流計画

- (1) 自治会活動への積極的な参加(R4 年度貴崎団地自治会役員)
- (2) 「あそび隊(ホーム利用者当事者団体)」を発足し、ボランティアを募り活動を通し交流
- (3) 交流強化地域を松蔭(第7)・貴崎団地(第6・7・8)に設定し、各種地域団体との繋がりを構築する
- (4) 大久保地区社協主催の「まち友」への参加

#### 6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名（やまゆりの家）

<p>今年度の目標</p>	<p>「ご利用者の望み・夢・未来への想い」に向き合う</p>
<p>優先度</p>	<p>具体的な方法</p>
<p>① アセスメントカ・支援力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員の基礎スキル向上を基に、チームとしてのバージョンアップを図る。(手法・理論等の整理)</li> <li>・事業所内の事例検討会を定期開催 ⇒ 年度内に法人内実践報告を行う。</li> <li>・知識、技術、価値を高める機会や学びを設定する。</li> </ul>
<p>② 意思決定支援の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思を形成する為の経験や選択肢の拡大を行い、表出できる機会や場面設定を行う。</li> <li>・ご利用者目線でのアセスメントや、ニーズ解決に向けた実践力を養う</li> <li>・個別支援計画作成の見直し</li> </ul>
<p>③ 第8・第9やまゆりの家の始動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行、新規契約をスムーズに図り、安定した生活の基盤を築く。</li> <li>・第9のコンセプト「自分に適した暮らしを見つけた」を遂行できる支援体制の構築。</li> <li>・第6を含む、貴崎団地内のホーム連携と、地域理解に繋がる働き掛けを行う。</li> </ul>
<p>④ ポジティブな住まいの選択の提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「住まい」を通して、障害当事者の「望む暮らし」について当事者・家族と考える機会を設ける。</li> <li>・多様な暮らしを実現できる支援環境、体制構築を検討し法人に提案する。</li> <li>・親亡き後ではなく、「自らの住まい」を選択する風土作りを行う。</li> </ul>
<p>⑤ 地域とのつながり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流強化地域(松蔭、貴崎団地)を設定し、その地域の団体やコミセンとのコネクションを作る。自治会役員も担当。</li> <li>・近隣の方がホームに足を運んで頂ける機会を作る(掃除のボラ・お話し相手・イベント)</li> <li>・「あそび隊」を通して交流を図る。</li> </ul>

行動計画 事業所名(やまゆりの家)

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	アセスメント力・支援力の強化		・事業所内 事例検討会(奇数月) ・内部研修(偶数月) ・各種研修会への職員派遣					個別支援計画 作成計画					法人全体へ 実践報告へ	個別支援計画 作成計画
②	意思決定支援の強化			個別アセスメント ニーズ整理 業務整理				個別支援計画		実践 職員会議・世話人会議			モニタリング 評価	個別支援計画
④	ポジティブな住まいの選 択の提案			各事業所職員・保護者会等との情報交換				他法人・事業所見学					当事者・ご家族への提案機会の設定 (事業所・特別支援学校・コトペンペールイベント)	
⑤	地域とのつながり		あそび隊発足・ボランティア募 集			第7イベント	広報誌配布						第7イベント	広報誌配布



## □あいすくりーむの家

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名                    共同生活援助事業所あいすくりーむの家  
   あいすくりーむの家・ショコラ・バニラ  
   短期入所あいすくりーむの家
- (2) 設置場所                    兵庫県明石市大久保町大窪 2726-1
- (3) 提供するサービスと利用定員  
共同生活援助事業所  
あいすくりーむの家    5名  
ショコラ                    7名  
バニラ                      7名  
短期入所                    1名
- (4) 職員定数  
管理者 1名  
サービス管理責任者 1名  
生活支援員(常勤換算)    5.0名以上  
世話人(常勤換算)        4.7名以上  
看護師                      1名  
協力医                      1名

### 2. 基本方針

- (1) 「その人自身を大切にした暮らしを支える」
- ① その人らしさ、その人自身の素となるものを見つけ出す
  - ② 素に寄り添い向き合う
  - ③ 止まる事なく歩みつ続ける
- (2) 「安心・安全な住まいの場となる」
- ① 安心して住み続けていただく
  - ② 必要な体制や環境を整える
- (3) 「今を共に生きる」
- ① 共有する時の流れの中で、その人の『今』『時』にこだわる

### 3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 4. 活動内容

- (1) 年齢を重ねる事で低下する身体機能や判断能力を考慮し、安全かつ快適な生活と住環境を提供する

- (2) 看護師を 24 時間配置し、医療的なケアが必要になった場合でもグループホームでの生活が維持できるように支援体制を整えていく
  - ① 短期入所の受け入れに対し、医療を含めた聞き取りを丁寧に行い安心してご利用いただけるように努める
  - ② 日々の聞き取りからは勿論、利用者自治会(年 6 回)での意見収集や問題解決を図ることで安定した生活に繋げる
- (3) その人の「時間・人生」をご利用者・ご家族と一緒に考える。またご家族との繋がりを大切にす
  - ① 家族交流会(年 1 回)
  - ② ターミナルケア委員会(年 6 回かいのき合同)を通じて、いつか訪れる人生のターミナル期の体制を整えていく
- (4) 感染症対策の徹底
  - ① 集団生活における感染症への正しい知識のもと適切な対応の強化
  - ② ウイルス感染に備え、感染予防委員会(6 回/年かいのき合同)にて内部研修(随時防護服等着脱・廃棄等研修)
- (5) 防災・防犯
  - ① 避難訓練(年 1 回)
  - ② シェイクアウト訓練(1 月 17 日かいのき合同)
  - ③ 救急救命講習(年 2 回かいのき合同)
  - ④ 地域の防災訓練参加(高丘東小校区)
- (6) 身体拘束適正化委員会
  - ① 虐待防止委員会(年 6 回かいのき合同)の中に身体拘束適正化委員会(年 3 回かいのき合同)を発足し、身体拘束等の適正化のための対策を検討する。また職員への周知を図る。職員研修(年 1 回かいのき合同)
- (7) リスクマネジメント委員会(年 6 回かいのき合同)
  - ① ヒヤリハットの検証・事故防止策の検討・報告

## 5. 地域交流計画

- (1) 地域行事(祭り・防災訓練・研修会等)への参加をはじめ、高丘地区との繋がりを構築していく
  - ① 「高丘中学校知人協」研修にて「障害理解の研修」を調整、企画
- (2) 地域資源の活用(飲食店・美容理髪店・買い物・娯楽・コミセン等)と模索

## 6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名（あいすくりーむの家）

<p><b>今年度の目標</b></p>	<p>①「時間(とき)・人生」を大切に過ごすためにも本人の想いをくみ取り実現させる                  ②「その人らしい最後」を迎えるための体制づくり                  ③ご家族との時間、繋がりを考える                  ④地域との繋がりを                  ⑤障害理解を深める</p>
----------------------	--

<p><b>具体的な方法</b></p>	
<p><b>優先度</b></p>	<p><b>目標達成のために実施する事</b></p>
<p>①</p>	<p>個別支援計画に「夢」を組み込む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画作成前には、職員全体で話し合いを行い夢の共有を図る(2回/年)</li> <li>・言語化が難しい方には、ご家族からの聞き取りや、職員の日々の関わりの中から夢をくみ取る</li> <li>・「夢」の取り組み報告について各ケース担当で報告会を行う(6回/年)</li> <li>・「夢」が実現したものには職員工夫の上、全体に共有する。ご家族へも伝える</li> </ul>
<p>②</p>	<p>ターミナル期の体制を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期におけるあいすくりーむの家の考えや想いをご本人、ご家族、職員、看護師、世話人で共有する。それらを伝える為のツールをターミナルケア委員会で検討する</li> <li>・リビングウィルの作成と話し合いを定期的に行いながら、ご家族と共通認識を図る(2回/年)</li> <li>・夜間⇄日勤の申し送りがスムーズに行えるよう情報・業務整理を行う</li> </ul>
<p>③</p>	<p>ご家族との時間を大切に考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機関誌を発行して「あいすくりーむの家での生活」を伝えていく(4回/年)</li> <li>・ご家族と過ごせる時間を設ける</li> <li>・家族交流会を実施する(1回/年)</li> </ul>
<p>④</p>	<p>地域へ働きかける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事へ積極的に参加する。地域資源を活用する(サークル活動・移動支援・商業施設・ボランティア)</li> <li>・地域の研修会等への参加(障害理解への研修企画)</li> <li>・あいすくりーむの家の存在を地域の方に知ってもらう(ブログの活用・掲示物の作成等)</li> </ul>
<p>⑤</p>	<p>前年度研修のフィードバックを行う</p> <p><b>【世話人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度研修を受けてからのアンケート結果より「意識して取り組んでいるところ」についての振り返りを個人面談で行う。また定期的に世話人会議を行う(3回/年)</li> </ul>

行動計画 事業所名 (あいすくりーむの家)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	個別支援計画に「夢」を組み込む	<p>前期個別支援計画実施(毎月末モニタリング記録) <input type="text"/> 話し合い</p> <p>後期個別支援計画実施(毎月末モニタリング記録) <input type="text"/> 話し合い</p> <p>ケース担当で計画・サビ菅と相談→実施→共有</p>											
②	ターミナル期の体制を整える	<p>リビングウエルの作成と見直し</p> <p>ターミナルケア委 <input type="text"/> ターミナルケア委 <input type="text"/> ターミナルケア委 <input type="text"/> ターミナルケア委 <input type="text"/> ターミナルケア委 <input type="text"/></p> <p>情報ツールの見直し、業務整理</p>											
③	ご家族との時間を大切に考える	<p><input type="text"/> 機関誌発行 <input type="text"/> 機関誌発行 <input type="text"/> 機関誌発行 <input type="text"/> 機関誌発行</p> <p>ケース担当でご家族同士の外出や食事会の企画等実施</p> <p><input type="text"/> 家族交流会</p>											
④	地域へ働きかける	<p>社会資源の活用(飲食店・美容理髪店・買い物コミセン・娯楽等)</p> <p>地域の催しや研修への参加</p> <p>ブログの発信</p>											
⑤	前年度研修のフィードバックを行う	<p><input type="text"/> 世話人会議or個別面談 <input type="text"/> 世話人会議or個別面談 <input type="text"/> 世話人会議or個別面談 <input type="text"/> 世話人会議or個別面談</p> <p><input type="text"/> 世話人研修</p>											



## □かいのき

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名                   生活介護事業所かいのき  
                                  共生型通所介護事業所かいのき
- (2) 設置場所                 兵庫県明石市大久保町大窪 2746-1
- (3) 提供するサービスと利用定員  
                                  生活介護・共生型通所介護   20名
- (4) 職員定数  
                                  管理者                       1名  
                                  サービス管理責任者   1名  
                                  生活支援員(常勤換算)   7.6名以上  
                                  看護師                     1名  
                                  事務員                     1名  
                                  嘱託医                     1名

### 2. 基本方針

- (1) 「五感を潤し、自然な時・空間を創造する」
  - ① 共有する時の流れの中で、その人の『今』『時』にこだわる
  - ② 一人一人に寄り添い向き合う
  - ③ 共感にとどまらず共創していく
  - ④ 美味しく、楽しく、最後まで
- (2) 「世代や障害の有無にかかわらず地域に根付き開かれた横断的な事業所を目指す」
  - ① 事業所の設備や人材の活用を地域住民に普及する

### 3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 4. 活動内容

- (1) 日中活動(サークル活動・創作活動・機能訓練・スノーズレン・アロマセラピー・入浴)
- (2) 社会活動(個別外出随時・地域行事参加・新館利用)
- (3) 余暇活動(季節行事・誕生日外出・小旅行)
- (4) 利用者自治会(要望・意見収集年6回)
- (5) 外部実習生の受け入れ(社会福祉士・介護等体験・保育士・トライやるウィーク)
- (6) 感染症対策の徹底(感染症への正しい知識と適切な対応の強化・ウイルス感染に備え、感染予防委員会年6回にて研修)
- (7) 防災・防犯計画(避難訓練・年1回シェイクアウト訓練・1月17日救急救命講習・年2回地域の防災訓練参加・高丘東小校区)

(8) 身体拘束適正化委員会(虐待防止委員会・年6回の中に身体拘束適正化委員会・年3回を発足し、身体拘束等の適正化対策を検討する。また職員への周知を図る。虐待防止研修・年2回)

(9) 他委員会

- ① ターミナルケア委員会(年6回あいすくりーむの家合同)
- ② リスクマネジメント委員会(年6回あいすくりーむの家合同)

#### 5. 地域交流計画

(1) 地域行事(祭り・防災訓練・研修会等)への参加をはじめ、高丘地区との繋がりを構築していく

- ① 「高丘中学校知人協」研修にて「障害理解の研修」を調整、企画

(2) 地域資源の活用(飲食店・美容理髪店・買い物・娯楽・コミセン等)と模索

#### 6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名（かいのき）

<p>今年度の目標</p>	<p>①「時間(とき)・人生」を大切に過ごすために日中活動の充実を図る                  ②チームのスキルアップを図る                  ③「美味しく、楽しく、最後まで」を継続していく                  ④ご利用者確保                  ⑤地域との繋がりを</p>
---------------	--

優先度	目標達成のために実施する事	具体的な方法
①	<p>ご利用者のニーズを把握し活動内容を整理する</p> <p>委員会活動 チーム活動 内部研修・勉強会</p>	<p>・個別支援計画作成前には、職員全体で話し合いを行う(2回/年)。好きなこと、好きな物を知りニーズの把握を職員間で共有する                  ・「個人」「集団」「体力づくり」「サークル活動」など、活動のカテゴリに分けて把握しやすくする。また「ご利用者のしたいこと」「健康維持のために必要なこと」等ターゲットで考え、お一人お一人の活動の組み立てを行う                  ・委員会を虐待防止(身体拘束)、リスクマネジメント、ターミナルケア、感染予防の4つに分けて活動を行い、全体へ活動内容を発信する                  ・チームを食事、環境、健康、活動の4つに分けて業務分担を行うことで事業が円滑に進むようにする。それぞれのチームで取り組む業務を考え発信する                  ・「介護」「専門職(ST/PT)」「チーム作り」の勉強会を実施(1回/月)</p>
③	<p>スキルアップ研修 「食べるため」に必要な運動</p>	<p>・食事チームで勉強会を企画、実施(3回/年)                  ・体操・口腔体操のプログラムを作成し、それぞれのレベルアップを図る</p>
④	<p>ご利用者(利用日数を増やす)を増やす</p>	<p>・医療的ケアが必要な方等ご利用者数を増やすため地域包括支援センターや相談支援事業所との情報を共有するとともにブログでの方法を試みる                  ・土曜日開所日にイベントを行う際は別日利用のご利用者にも参加を促す</p>
⑤	<p>地域へ働きかける</p>	<p>・地域行事へ積極的に参加する。地域資源を活用する(サークル活動・移動支援・商業施設・ボランティア)                  ・地域の研修会等への参加(障害理解への研修企画)                  ・かいのきの存在を地域の方に知ってもらう(ブログの活用・掲示物の作成等)</p>

行動計画 事業所名 (かいのき)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	ご利用者のニーズを把握し活動内容を整理する	<p>前期個別支援計画実施(毎月末モニタリング記録)</p> <p>話し合い</p> <p>後期個別支援計画実施(毎月末モニタリング記録)</p> <p>話し合い</p> <p>ケース担当で計画・サビ菅と相談→実施→共有</p>											
②	委員会活動 チーム活動 内部研修・勉強会	<p>虐待防止(6回うち身体拘束3回)・リスクマネジメント(6回)・ターミナルケア(6回)・感染予防(6回)利用者自治会(6回)</p> <p>食事・健康管理・日中活動・環境チームごとに取り組み内容を随時発信</p> <p>介護・専門・チーム(毎月どれかの項目の勉強会、研修を実施)</p>											
③	スキルアップ研修 「食べるため」に必要な運動	<p>食事研修</p> <p>食事研修</p> <p>食事研修</p> <p>口腔ケア・体操のプログラムを作成(日中活動チーム・ST・PT)実施</p>											
④	ご利用者(利用日数を増やす)を増やす	<p>情報共有と共にブログでの発信・相談事に積極的に受け入れを検討</p> <p>現通所ご利用者の土曜開所日(イベント)の受け入れ</p>											
⑤	地域へ働きかける	<p>地域資源を活用しながら地域との繋がりを深める</p> <p>ブログでの広報</p>											

## □すたじおぼっち

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名                   生活介護事業所すたじおぼっち
- (2) 設置場所                 兵庫県明石市魚住町金ヶ崎 704-6
- (3) 提供するサービスと利用定員  
生活介護                   15名(登録数 40名)
- (4) 職員定数  
管理者(兼務)               1名  
サービス管理責任者       1名  
生活支援員                 4名(常勤換算 3.3名)  
機能訓練指導員・看護師(兼務)   1名  
顧問医                   1名

### 2. 基本方針

「Manymen,manyminds.」～色々な人が、色々なままで在るように～

- (1) 表現活動を通して、多様なあり方を認められる場所とする。
- (2) 活動を発信し、障害のある方の社会参加を推進する。
- (3) 地域と関わりを持ち、地域の一員・文化創造の一拠点となる。

### 3. 活動内容

- (1) 表現活動…絵画/立体/音楽など
- (2) 企画…展覧会/ワークショップ/地域活動への参加
- (3) 健康維持…散策/外出/調理実習
- (4) 商品制作/販売

### 4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 5. 地域交流計画

- (1) 魚住まちづくり協議会への参加
- (2) 自主企画(年2回)
- (3) 体操教室サンぼっち(月2回)
- (4) オープンスタジオ(不定期)

### 6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名 (すたじおぼっち)

<b>今年度の目標</b>	
① ぼっちらしさを明文化し、スタッフ全員で共有します。 ② 活動を発信することで、ぼっちがある意義を確認し理解を深めます。	
<b>優先度</b>	<b>目標達成のために実施する事</b>
①	コンセプトと行動指針の作成。 ・支援会議・ミーティング・イベントの振り返りなどを通して、私たちが大事にすることや姿勢を共有します。 (支援会議: 半年ごと/ミーティング: 月1回/イベント振り返り: 年2回) ・事業計画の進捗と振り返りを行います。(1月) ・外部の展示会鑑賞や研修を通して、私たちが目指す方向性を考えてきます。(年1回/1人) ・共有したことを文章にまとめます。(年度末)
②	発信に注力できるように、支援や活動、業務を整えていきます。 ・スタッフ増員(パート・週3日)と役割分担をします。(事務・商品・物品管理など/上半期) ・ご利用者の状況に合わせてニーズ整理・新たな活動や場所の提案(移行)を行います。(半年ごと/面談にて) ・目的に応じてボランティアスタッフを募っていきます。(散歩の付添い・商品づくりなど/上半期)
②	活動を発信します。 ・展示…「何を伝えたいか」をすり合わせる時間を作り、展示内容を作ります。(アスピア・明石SA) ・商品…定番商品を計画的に準備し、販売を定着させていきます。(大山寺珈琲・FLIPFLOP/オンラインストア) ・企画…「誰と・何のために」を意識して内容を検討します。(自主企画/年2回) ・広報…インスタやブログを効果的に活用していきます。(企画ごとに法人内・外へ向けて)
③	今後の展開を考えます。 まず、既存の活動を計画的に、確実に実施し、充実を図ります。 事業計画の振り返りにてスタッフでアイデアを出し合い、現状とすり合わせながら次につなげます。 (ぼっち内シヨップ化、販売・展示場所の新規開拓、ぼっち広報誌作成、工賃アップに向けて…)

行動計画 事業所名(すたじおぼっち)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	コンセプトと行動指針の作成。	<p>●支援会議</p> <p>↑</p> <p>コンセプト・行動指針作成</p> <p>●支援会議</p> <p>●事業計画振り返り</p>											
②	支援や活動、業務を整えていきます。 活動を発信します。	<p>↑</p> <p>スタッフ増員・役割り分担</p> <p>●展示(アスピア) ●展示(明石SA)</p> <p>●自主企画</p> <p>●春～夏商品(Tシャツなど)</p> <p>●ニーズ整理(9月・3月面談にて)</p> <p>●展示(明石SA)</p> <p>●自主企画</p> <p>●秋～冬商品(ぼち袋・カレンダー・パーカー)</p>											
③	今後の展開を考えます。	●事業計画振り返り											



## □オアシス

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名 相談支援事業所オアシス／相談支援事業所オアシスⅡ
- (2) 設置場所 オアシス明石市東仲ノ町 3-25 アスパア明石東館 207 号  
オアシスⅡ 明石市大久保町大窪あいすくりーむの家内
- (3) 提供するサービスと利用定員  
明石市指定 指定特定相談支援事業指定障害児相談支援事業  
年間サービス利用計画見込み件数  
更新者 347 回  
モニタリング 1054 回
- (4) 職員定数  
管理者 1 名  
相談支援専門員 4 名

### 2. 基本方針

- (1) 「社会福祉法人明桜会の使命と基本理念」に則り、明石市を中心とした東播磨圏域を当事業所の主なフィールドとして捉え、相談支援事業所として適切な事業展開を図ります。
- (2) 利用者一人ひとりが豊かな生活を送ることができる地域社会の形成を目指して、行政及び関係機関と連携を図ります。
- (3) 利用者の基本的人権を尊重し、利用者本位の質の高い相談支援の提供に努めます。また、新たな社会資源の開発と地域社会における共生の実現のため、地域自立支援協議会に参画し積極的に運営に関わります。
- (4) 職員の能力開発や専門性の向上を図るため、計画的に人材を育成するとともに、職員に高い倫理観と規範意識を促し信頼される組織運営を図ります。
- (5) 効率的な経営と適切な収益確保を推進する事により、経営基盤の安定・強化に努めます。

### 3. 活動内容

- (1) 訪問相談／来所相談／電話相談を随時実施。(営業時間外の緊急時については、大地の家で相談を受け付けオアシスで対応する)
- (2) 新規／更新サービス等利用計画作成・継続サービス利用支援計画作成。
- (3) 個別支援会議を随時実施。
- (4) 明石市自立支援協議会及び東播磨圏域ネットワーク会議への参加。

### 4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 5. 地域交流計画

- (1) 個と地域の一体的支援を見据え、地域住民・ボランティアグループとの繋がりを持つために自治会活動等への参加をする。
- (2) ケースを通し、地域の民生委員や地域総合支援センターをはじめ地域住民との関りを持ちその人を中心とした多様なつながりが生まれやすくなるための環境整備を図る。

- (3) 地域の避難訓練・防災訓練等に参加する。
6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名 (相談支援事業所オアシス)

<b>今年度の目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケースにおいて本人中心とした生活圏域を網羅した支援体制の構築を目指します。</li> <li>・すべてのご利用者に対し、国の示す基準に基づいたサービス更新・モニタリングを実施する</li> <li>・ご利用者の、その人らしい暮らしの実現に向け多機関連携を意識しコーディネートしていきます。</li> </ul>	
<b>具体的な方法</b>	
<b>優先度</b>	<b>目標達成のために実施する事</b>
①	<p>定例会議にて本人中心支援の確認をしつつ、職員の相互成長をはかる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回オアシス会議で個別ケースのアセスメントの妥当性を確認し、2か月1回のオアシス会議では各職員が「本人中心支援」をテーマに発表し、自己の価値観・倫理感を振り返ることに繋げる。</li> <li>・相談部門として「気づきの事例検討会」を年2回実施する。</li> <li>・現任研修終了者が適宜同行支援を行う。</li> </ul>
②	機能強化型 I を維持し、事業所が取得する加算を明確にする。
③	ご利用者が不利益を被らないよう意識し、国が示す基準に則ったモニタリングを実施する。
④	コーディネート力をつける
⑤	個別ニーズから見えた共通の課題に対する取り組みを実施する
<p>機能強化型 I の体制を維持し、サービス提供時モニタリング加算等の取得を強化する。</p> <p>オアシスご利用者347名に対し、国が示す基準に則ってモニタリングを実施していく。(年間1054回見込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・135eネットや自立支援協議会の活動・会議への職員派遣を行い、地域の様々な資源を知り顔を合わせる機会を積極的につくることで連携しやすい環境を整えていく。</li> <li>・担当する事業所と定期ヒヤリングを行い、ご利用者面談や事業所の会議・勉強会等のサポートをするなどにより連携を深める。</li> <li>・個別ケースにおける課題からテーマを絞り、法人内の各事業所との「学習会」を実施する。</li> <li>・相談部門としてあくどとと合同で、本人・家族に向けた「セミナー」を企画・実施する。後見制度、年金、介護保険、福祉サービス、将来の暮らし等について学んでいただく機会を作るとともにオアシスの役割も知っていただく。</li> </ul>	

行動計画 事業所名 (相談支援事業所オアシス)

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	オアシス会議	オアシス会議(毎週火曜日午前) ※通年	↑											
②	気づきの事例検討会		気づきの事例検討会(1回目)								気づきの事例検討会(2回目)			
③	外部研修 (オアシス課題に応じた研修があれば参加検討)		チームアップ ローチ研修				相談面接 技術研修 (中級)					スキルアップ 研修		
④	「オアシス学習会」 (テーマ・日程等、法人内事業所と相談しながら実施)		学習会 ————— ↑											
⑤	「あくど・オアシス合同セミナー」 (対象:本人、家族)		企画会議				セミナー開催							

令和4年度 社会福祉法人明桜会

あくと・オアシス 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	金 辞令交付式	日	水	金	月	木
2	土	月	木	土	火	金
3	日	火 憲法記念日	金	日	水	土
4	月	水 みどりの日	土	月	木	日
5	火	木 こどもの日	日	火	金	月
6	水	金	月	水	土	火
7	木	土 開所日	火	木	日	水
8	金	日	水	金	月	木
9	土	月	木	土	火	金
10	日	火	金	日	水	土 開所日
11	月	水	土	月	木	日 山の日
12	火	木	日	火	金	月
13	水	金	月	水	土	火
14	木	土 開所日	火	木	日	水
15	金	日	水	金	月	木 雇用支援検討会
16	土	月	木	土	火	金 サロン
17	日	火	金	日	水	土 つどい
18	月	水	土	月	木	日
19	火	木 雇用支援検討会	日	火	金	月 敬老の日
20	水	金 サロン	月	水	土	火
21	木	土 開所日	火	木	日	水
22	金	日	水	金	月	木
23	土	月 開所日	木	土	火	金 秋分の日
24	日	火	金	日	水	土
25	月	水	土	月	木	日
26	火	木	日	火	金	月
27	水	金	月	水	土	火
28	木	土	火	木	日	水
29	金	日 昭和の日	水	金	月	木
30	土	月	木	土	火	金
31	日	火	土	日	水	月
備考					あくとオアシス 又合同セミ ナー 健康診断	
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	土	火	木	日	水	水
2	日	水	金	月	木	木
3	月	木 文化の日	土	火	金	金
4	火	金	日	水	土	土
5	水	土	月	木	日	日
6	木	日	火	金	月	月
7	金	月	水	土 開所日	火	火
8	土	火	木	日	水	水
9	日	水	金	月 成人の日	木	木
10	月	木	土	火	金	金
11	火	金	日	水	土 建国記念日	土
12	水	土	月	木	日	日
13	木	日	火	金	月	月
14	金	月	水	土	火	火
15	土	火	木	日	水	水
16	日	水	金	月	木	木
17	月	木 明石地域雇用支援協議会	土 開所日	火	金	土 雇用支援検討会
18	火	金	日	水	土	日
19	水	土 開所日	月	木 雇用支援検討会	日	土 つどい
20	木	日	火	金	月	日
21	金	月	水	土	火	火 春分の日
22	土	火	木	日	水	水
23	日	水 勤労感謝の日	金	月	木	木
24	月	木	土 開所日	火	金	土 天皇誕生日
25	火	金	日	水	土	日
26	水	土	月	木	火	火
27	木	日	火	金	月	月
28	金	月	水	土	火	火
29	土	火	木	日	水	水
30	日	水	金	月	土	木
31	月	木	土	火	日	金
備考	障害者雇用啓 発セミナー	明石地域雇用 支援連絡会議				つどいボウリ ング大会
稼働日数	23	22	22	22	20	23
休止日数	8	8	9	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

## □あくと

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名 明石市障害者就労・生活支援センターあくと
- (2) 設置場所 明石市東仲ノ町 3-25 アスパア明石東館 207 号
- (3) 提供するサービスと利用定員
  - 登録者数 310 名
  - 未登録者数 508 名(登録除外者 67 名含む)
- (4) 職員定数
  - 管理者 1 名
  - 就労支援員 4 名
  - 就労支援アドバイザー1 名

### 2. 基本方針

- (1) 「社会福祉法人明桜会の使命と基本理念」に則り、明石市内を拠点に障害者就労・生活支援センターとして適切な事業展開を図ります。
- (2) 明石市内に在住する障害者及び企業・事業主に対して障害者雇用に関する理解を深め障害者が働き続けることができる環境を構築します。
- (3) 就労を希望される障害のある方に対し、就労支援及び就労に関わる生活支援を提供します。
- (4) 職員の能力開発や専門性の向上を図るため、計画的に研修を実施し人材育成します。職員に高い倫理観と規範意識を促し信頼される組織運営を図ります。
- (5) 企業内の就労場面に活動を限定せず、地域社会における共生の実現のため地域自立支援協議会等に参画し積極的に運営に関わります。

### 3. 活動内容

- (1) 障害者の就労に関する相談を受け、就業生活全般に関する支援を行う。
- (2) 一般企業等における実習はじめ、就労支援機関や障害者職業センターなどと連携し適職開拓・職業準備性を高める支援を行う。
- (3) 地域に点在する社会資源を活用し、働き続けるために必要な生活面の環境調整を行う。
- (4) 明石地域の障害者就労支援の拠点となるべく、労働行政・就労支援機関・教育機関等と定期的な会議を開き連携強化を図る。
- (5) 就職時・退職時の支援及び再就職に向けた支援を行う。
- (6) 企業等を対象とした雇用啓発セミナーを開催する。
- (7) 登録者の余暇・語らいの場を提供し生活場面の充実を図るための支援を行う。
- (8) 明石市地域自立支援協議会しごと部会のワーキング活動に積極的に関わる。

### 4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

### 5. 地域交流計画

- (1) 就労支援分野に偏ることなく、地域住民・ボランティアグループとの繋がりを持つために自

治会活動等への参加をする。

(2) 多様化・複雑化する地域課題に対応するためにも明石市内の地域総合支援センターとの関係づくりを行う。

(3) 地域の避難訓練・防災訓練等に参加する。

6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名 (明石市障害者就労・生活支援センターあくと)

<p>今年度の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのあくと職員が、障害種別・ライフステージを問わず障害者の就労と生活を両面からサポートする為の育成をします。</li> <li>・明石地域の障害者就労支援連携の中心的な役割を担えるよう定例会議や活動を行っていきます。</li> <li>・個別のニーズから出てくる共通課題とそれに対する必要なアプローチをチーム全体で創り上げることが通じて、障害者が安心して働き続けられる地域づくりを目指します。</li> </ul>
---------------	--

優先度	目標達成のために実施する事	具体的な方法
①	就労と生活の両面から個別支援をコーディネートできる職員の育成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の定例会議を開催し、アセスメントの妥当性、社会資源調整、担当者がもつ情報や気づきについて専門職を含めた全職員間で共通認識を図り、職員個人のスキルに頼らない支援のかたちを作り上げていく。</li> <li>・内部研修として「気づきの事例検討会」を年2回実施し、相談部門として相互成長を促していく。</li> <li>・就労関係生活支援関係等の外部研修に積極的に職員を派遣し、事業所報告を実施することで相互にスキルアップを図る。</li> </ul>
②	明石地域の障害者就労に関わる関係機関との連携強化。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市地域自立支援協議会ごとと部会のワーキングに積極的に関わっていく。</li> <li>・障害者雇用に関わる関係機関による全体的な情報共有を行うことを目的に「明石地域雇用支援連絡会議」を年に1回開催し、個別ケースをもとに意見交換・課題の集約などを行うことを目的として「雇用支援検討会(小会議)通称/TEAM: Aミーティング」を2ヶ月に1回開催する。</li> </ul>
③	あくとのつどい、あくとサロンの定期的開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つどいでは、あくと登録者を対象とした余暇的活動の企画・実施のサポートをします。コロナ禍における活動についてはオンラインを使用したレクリエーションを中心にしながら語らいの場を提供する。</li> <li>・サロンでは、あくと登録者のうち精神障害者の方を中心に、互いに就労生活の悩みや心配ごとなどを自由に語り合い自身の生活に対するヒントを持ち帰ることができている場の提供をする。</li> </ul>
④	明石地域の企業へのアプローチ強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに障害者雇用をしている現場の担当者やこれから取り組もうとされている事業主に向けた雇用啓発セミナーを開催する。</li> <li>・障害者雇用の啓発活動と体験実習先の確保のための企業開拓を行う。</li> </ul>
⑤	障害者が安心して働き続けられる地域づくりに応じた取り組みを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あくとオアシス合同セミナーの開催により、安心して働き続けるための生活面の課題とあくとの支援のかかわりを発信し、地域づくりにつなげていくようにする。</li> <li>・セミナーの企画委員を選定し、企画の過程を通じて地域への発信力や課題選定の能力を培うようにする。</li> </ul>

行動計画 事業所名 (明石市障害者就労・生活支援センターあくと)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	人材育成 ・あくと会議 ・気づきの事例検討会 ・外部研修	あくと会議 (毎週木曜 日午前) ※通年			気づきの事 例検討会 ジョブコー チ研修	全国就業 セミナー				気づきの事 例検討会 東・北播磨 就労研修			
②	しごと部会本会議及びワーキング活動への参加		ワーキング 活動参加	しごと部会 本会議									しごと部会 本会議
③	明石地域雇用支援連絡会議 雇用支援検討会の定期開催		雇用支援 検討会 (課題検 討)		雇用支援 検討会 (課題検 討)		雇用支援 検討会 (課題検 討)		明石地域 雇用支援 連絡会議 (情報共 有)		雇用支援 検討会 (課題検 討)		雇用支援 検討会 (課題検 討)
④	・登録者を対象とした余暇活動 「あくと集い」(最終土曜日) ・登録者のうち精神障害者を中 心とした語らいの場「あくとサロ ン」(第3金曜日)	つどい	つどい	つどい	つどい	つどい	つどい	つどい	つどい	つどい	つどい	つどい	つどい
⑤	・雇用啓発セミナー開催。 ・明石地域の体験実習先企業開 拓は通年実施。												
⑥	「あくと・オアシス合同セミナー」 (対象:本人、家族)		企画会議										今年度の 地域課題 のまとめ・ 集約リス ト作成

●雇用啓発セミナー

明石地域の体験実習先企業開拓の活動(通年)

●あくとオアシス合同セミナー  
(専門家登壇、就労者と事業所の発  
表、あくと支援報告等)

令和4年度 社会福祉法人明桜会

あくと・オアシス 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	金 辞令交付式	日	水	金	月	木
2	土	月	木	土	火	金
3	日	火 憲法記念日	金	日	水	土
4	月	水 みどりの日	土	月	木	日
5	火	木 こどもの日	日	火	金	月
6	水	金	月	水	土	火
7	木	土 開所日	火	木	日	水
8	金	日	水	金	月	木
9	土	月	木	土	火	金
10	日	火	金	日	水	土 開所日
11	月	水	土	月	木	日 山の日
12	火	木	日	火	金	月
13	水	金	月	水	土	火
14	木	土 開所日	火	木	日	水
15	金	日	水	金	月	木 雇用支援検討会
16	土	月	木	土	火	金 サロン
17	日	火	金	日	水	土 つどい
18	月	水	土	月	木	日
19	火	木 雇用支援検討会	日	火	金	月 敬老の日
20	水	金 サロン	月	水	土	火
21	木	土 開所日	火	木	日	水
22	金	日	水	金	月	木
23	土	月 開所日	木	土	火	金 秋分の日
24	日	火	金	日	水	土
25	月	水	土	月	木	日
26	火	木	日	火	金	月
27	水	金	月	水	土	火
28	木	土	火	木	日	水
29	金	日 昭和の日	水	金	月	木
30	土	月	木	土	火	金
31	日	火	土	日	水	土
備考					あくとオアシス 又合同セミナー 健康診断	
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	土	火	木	日	水	水
2	日	水	金	月	木	木
3	月	木 文化の日	土	火	金	金
4	火	金	日	水	土	土
5	水	土	月	木	日	日
6	木	日	火	金	月	月
7	金	月	水	土 開所日	火	火
8	土	火	木	日	水	水
9	日	水	金	月	木	木
10	月	木 スポーツの日	土	火	金	金
11	火	金	日	水	土 建国記念日	土
12	水	土	月	木	日	日
13	木	日	火	金	月	月
14	金	月	水	土	火	火
15	土	火	木	日	水	水
16	日	水	金	月	木	木 雇用支援検討会
17	月	木	土	火	金	土
18	火	金	日	水	土	日
19	水	土 開所日	月	木 雇用支援検討会	日	日
20	木	日	火	金	月	月
21	金	月	水	土	火	火 春分の日
22	土	火	木	日	水	水
23	日	水 勤労感謝の日	金	月	土 天皇誕生日	木
24	月	木	土	火	金	金
25	火	金	日	水	土	土
26	水	土	月	木	日	日
27	木	日	火	金	月	月
28	金	月	水	土	火	火
29	土	火	木	日	水	水
30	日	水	金	月	土	木
31	月	木	土	火	金	金
備考	障害者雇用啓 発セミナー	明石地域雇用 支援連絡会議				つどいボウリ ング大会
稼働日数	23	22	22	22	20	23
休止日数	8	8	9	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

## □木の根学園

### 1. 施設概要

- (1) 事業所名 明石市立木の根学園
- (2) 設置場所 兵庫県明石市大久保町大窪 2752
- (3) 提供するサービスと利用定員

たんぽぽ工房利用定員 60名

生活介護事業 50名

就労継続B型 10名

ひまわり工房利用定員 60名

生活介護事業 50名

就労継続B型 10名

短期入所 6名

- (4) 職員定数

統括施設長 1名

たんぽぽ工房管理者(兼務) 1名

サービス管理責任者 1名

職業指導員 1名

生活支援員 24名(20.0)

看護師 1名(0.1名)

理学療法士 1名(0.3名)

事務員 1名

顧問医 1名

ひまわり工房管理者 1名

サービス管理責任者 1名

職業指導員 1名

生活支援員 25名(20.4)

看護師 1名

理学療法士 1名(0.3名)

発達心理士 1名(0.3名)

事務員 1名

顧問医 1名

### 2. 基本方針

- (1) ご利用者の声や意思を汲み取る姿勢を基本とし、一人一人の人生がより豊かになるよう個別支援の充実を図る。
- (2) 職員は、意思決定支援、行動障害者支援について、専門知識と技術の向上に努め実践

する。

- (3) 誰もが安心して暮らせるまちづくりの一員として、地域活動やイベント販売を通じての出会いとつながりを大切にしていく。
- (4) 障害福祉の発展に向けて、明石市と現状の課題共有や改善に向けての具体的な提案を行っていく。

### 3. 活動内容

- (1) 作業(ケーキ菓子製造、手工芸品、下請け作業)
- (2) 療育(園芸療育、スヌーズレン、創作)
- (3) 運動(ユニバーサルスポーツ、散策、ストレッチ体操)
- (4) 余暇(季節行事、土曜日イベント、外出、パソコン活動)
- (5) 健康管理(健康診断、内科検診、インフルエンザ予防接種、バイタルチェック)
- (6) 防災(避難訓練年2回)

### 4. 各種委員会

- (1) 虐待防止委員会:全職員対象に権利擁護、虐待防止に関する学びを深める研修の企画と実施及びアンケートによる振り返り実施
- (2) 身体拘束適正委員会:虐待防止委員会と連動し、支援環境において不適切な行動制限がないかチェックを行う。
- (3) 感染症対策委員会:定期的の実施し、対策の振り返りと課題検討及びマニュアル更新を行う。
- (4) 防災対策・BCP 策定委員会:避難訓練の企画と実施及び BCP 策定に向けて協議検討を行う。
- (5) 利用者自治会運営委員会:利用者自治会の運営をサポートし、また話し合った意見が支援につながるようコーディネートする。
- (6) 献立委員会:より良い給食提供に向けて、毎月調理担当者と意見交換を行い、課題改善等を行う。

### 5. 職員関係

- (1) キャリア、担当業務に応じた研修の実施
- (2) ストレスチェックの実施
- (3) 定期面談の実施
- (4) スマホ及びタブレット端末など ICT を導入し業務効率化を図る

### 6. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

7. 地域交流計画

- (1) 地域団体の見学会実施及び障害理解啓発をする
- (2) 地域行事・イベントへの参加
- (3) 清掃奉仕
- (4) 明石障がい者地域生活ケアネットワーク活動への参画

8. 年間予定表(別紙参照)

事業所名（明石市立木の根学園）

	<p>今年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援の浸透と行動障害への支援力を向上する</li> <li>・ご利用者の要望やストレスに着目した活動選択肢を増やす</li> <li>・職員がやりがいを育め、主体的に力を発揮できる職場環境を作る</li> </ul>
<p>優先度</p>	<p>具体的な方法</p>
<p>①</p> <p>意思決定支援の浸透、支援力向上に関する取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職と連携し勉強会を用1回実施。意思表示、意思形成にかかわるアプローチについての理解を深める。</li> <li>・意思決定支援チームを立ち上げ、実践と評価を行い、成果を確認しながら改善につなげるサイクルを作る。</li> <li>・利用者自治会運営委員会を継続し、運営方法の検討及び意見をとり入れた取り組みを実施する。</li> <li>・強度行動障害スーパーバイザー養成講座を導入し、職員が年間を通じて実践的なケースを通じて専門コンサルによるレクチャーを受け実践力を習得する。</li> <li>・オンライン研修を継続導入し、計画的に内部研修を実施する。</li> </ul>
<p>②</p> <p>ユニバーサルスポーツの導入・定着</p> <p>活動選択肢を増やす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動プログラムとしてポッチャ、ラダーゲッターを取り入れる。年2回、スポーツイベントを開催する。</li> <li>・パソコンを使用した活動を提供し、工房内の掲示物や配布物をご利用者と協同して作成する。</li> </ul>
<p>③</p> <p>職員間が心理的安全性を高め合える職場づくりと育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議、ミーティング、朝終礼において、スタッフの研修報告と事例発表の場を作り、成果と課題の確認を行う。</li> <li>・職員個々の業績目標達成に向けて、進捗の確認、個々の状況に応じたSVを実施する。</li> <li>・エンゲージメントアンケートを定期実施し、結果から抽出された課題を元に業務改善を行う。</li> </ul>
<p>④</p> <p>地域とのつながりを育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山手校区まちづくり協議会に参画し、地域課題について協働していく。</li> <li>・伝統ある木の根のケーキクッキーの販売機会を、より多くの方に知っていただくためにSNSアカウントを活用し、新商品や販売スケジュールの情報発信を行う。</li> <li>・市内の一人暮らしの高齢者を対象にした「みんなの給食プロジェクト」に参加し、地域の方々との交流と社会参加の機会を増やしていく。</li> <li>・公的施設の使命として、自治会等地域団体の事業所見学を積極的に受け入れ、障害者支援の理解・啓発に努めていく。</li> </ul>
<p>⑤</p> <p>環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ及びタブレット端末の導入</li> <li>・情報共有ツールの見直し(事務所の配置変更、ホワイトボード、朝礼の内容変更等)</li> <li>・販売活動における看板やのぼりなど販促グッズの見直しと整備を行う</li> </ul>

行動計画 事業所名（明石市立木の根学園）

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	意思決定支援の浸透、支援力向上に関する取り組み	<p>意思決定支援勉強会の実施(毎月)※各会議にて振り返りと成果確認</p> <p>意思決定支援チームによる実践</p> <p>振り返り</p> <p>意思決定支援チームによる実践</p> <p>評価</p> <p>強度行動障害スーパーバイザー養成講座 動画講義(3回) 演習(1回)</p> <p>研修計画に基づく研修の実施</p> <p>利用者自治会・利用者自治会運営委員会(毎月)</p>											
②	・ユニバーサルスポーツの導入・定着 ・活動選択肢を増やす	<p>日中活動プログラム実施 ※工房会議にて、内容検討・振り返りの実施</p> <p>スポーツイベント</p> <p>スポーツイベント</p>											
③	職員間が心理的安全性を高め合える職場づくりと育成	<p>個別面談</p> <p>モニタリング</p> <p>職員全体会</p> <p>職員全体会</p> <p>フィードバック</p>											
④	地域とのつながりを育む	<p>工房会議・班会議にて、内容の検討と実施</p>											
⑤	環境整備	<p>役職者会議・販売促進会議にて、検討と実施</p>											

令和4年度 社会福祉法人明桜会 木の根学園 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	金 新年度式	日	水 ショート予約解禁日	金 ショート予約解禁日	月 ショート予約解禁日	木 ショート予約解禁日	土	火 ショート予約解禁日	木 ショート予約解禁日	日	水 ショート予約解禁日	水 ショート予約解禁日
2	土	月	木	土	火	金	日	水	金 福祉管理・剪定	月	木	木
3	日	火 憲法記念日	金	日	水	土	月	木 文化の日	土 福祉管理・剪定	火	金	金
4	月	水 みどりの日	土 冷暖房設備保守	月	木	日	金	土	日	水	土 排水点検・清掃	土
5	火	木 こどもの日	日	火	金	月	土	日	月	木 ショート予約解禁日	日	日
6	水	金	月	水	土	火	日	月	火	金	月	月
7	木	土 開所日	火	木	日	水	金	月	水	土 開所日	火	火
8	金 職員全体会議	日	水	金 害虫駆除	月	木	火	日	木	日	水	水
9	土	月	木	土 排水点検・清掃	火	金	日	水	土	月	木	木
10	日	火	金	日	水	土	月	日	金 職員全体会議	火	金	金
11	月	水	土	月	日	火	金	土	日	水	土	土
12	火	木	日	火	月	日	土	月	日	木	日	日
13	水	金	月	水	土	火	日	火	火	金	月	月
14	木	土 開所日	火	木	日	水	月	日	水	土	火	火
15	金 工賃支給日	日	水 工賃支給日	金 工賃支給日	月 工賃支給日	木 工賃支給日	火	日	木 工賃支給日	日	水	水
16	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
17	日	火	金	日	水	土	月	日	土	火	金	金
18	月	水	土	月	日	火	金	土	日	水	土	土
19	火	木	日	火	月	日	土	月	日	木	日	日
20	水	金 害虫駆除	月	水	土	火	日	火	月	金	月	月
21	木	土 開所日	火	木	日	水	月	日	水	土	火	火
22	金	日	水	金 避難訓練	月	木	火	日	木	日	水	水
23	土	月	木	土	火	金	日	水 勤労感謝の日	金	月	木	木
24	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金
25	月	水	土	月	日	火	日	金	日	水	土	土
26	火	木	日	火	月	日	土	月	月	日	日	日
27	水	金	月	水	土	火	日	火	火	金	月	月
28	木	土 開所日	火	木	日	水	月	日	水	土	火	火
29	金	日	水	金	月	日	火	日	木	日	水	水
30	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
31	日	火	日	日	水	土	月	日	土	火	日	金
備考	新年度式		自治会選挙			健康診断	内科検診		産廃処理		内科検診	
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	22	22	20	23
休止日数	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9	9	9	10	10	8	9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	金 新年度式	日	水 ショート予約解禁日	金 ショート予約解禁日	月 ショート予約解禁日	木 ショート予約解禁日
2	土	月	木	土	火	金 健康診断
3	日	火 憲法記念日	金	日	水	土
4	月	水 みどりの日	土 冷暖房設備保守	月	木	日
5	火	木 こどもの日	日	火	金	月
6	水	金	月	水	土	火
7	木	土 開所日	火	木	日	水
8	金 職員全体会議	日	水	金 害虫駆除	月	木
9	土	月	木	土 排水点検・清掃	火	金
10	日	火	金	日	水	土 開所日
11	月	水	土	月	日	火
12	火	木	日	火	月	日
13	水	金	月	水	土	火
14	木	土 開所日	火	木	日	水
15	金 工賃支給日	日	水 工賃支給日	金 工賃支給日	月 工賃支給日	木 工賃支給日
16	土	月	木	土	火	金
17	日	火	金	日	水	土 開所日
18	月	水	土	月	日	火
19	火	木	日	火	月	日 敬老の日
20	水	金 害虫駆除	月	水	土	火
21	木	土 開所日	火	木	日	水
22	金	日	水	金 避難訓練	月	木
23	土	月	木	土	火	金 秋分の日
24	日	火	金	日	水	土
25	月	水	土	月	日	火
26	火	木	日	火	月	日
27	水	金	月	水	土	火
28	木	土 開所日	火	木	日	水
29	金	日	水	金	月	日
30	土	月	木	土	火	金
31	日	火	日	日	水	土
備考			自治会選挙			健康診断
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

**令和4年度  
社会福祉法人明桜会  
事業計画（案）**

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

**人材確保チーム**

**事業継続計画（BCP）作成チーム**

**人材育成・キャリアアップチーム**

**リスクマネジメントチーム**

**支援力向上チーム**

令和4年度法人重点事業年間計画(案)

チーム名	人材確保	人材育成・キャリアアップ	支援力向上	リスクマネジメント	業務継続統計画(BCP)作成
主担当	渡邊・岡平	加地・三村	永井・宮崎	山崎・谷一	大西・寺田
コアメンバー	北代・喜多山	前田・浅井・吉田智子	澤田・小林	松本・本田・神岡	伊丹
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年間通した採用活動の実施</li> <li>②合同就職説明会への出席</li> <li>③法人説明会・見学会の実施</li> <li>④採用試験の実施</li> <li>⑤内定者フォローのイベント実施</li> <li>⑥SNS、インターネット求人媒体の運用</li> <li>⑦中途採用者向け「障害福祉のおしごと説明会」「ハローワークミニ面接会」実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新任職員研修</li> <li>②OJT担当者研修</li> <li>③副主任ワーキング</li> <li>④法人役職者研修会</li> <li>⑤一般職人事評価の改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①支援力の向上を目的とした研修会の実施(個別支援計画作成のプロセスや実施について)</li> <li>②各事業所より対象者を募り、実際のケース・事例に基づいた事例検討の進め方を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①リスクマネジメントをとおしてご利用者の安心・安全のための環境を整備する。</li> <li>②課題抽出の見える化を進め事業所ごとの検討を実施する。</li> <li>③「課題解決のためのプロセス」を明確化していく。</li> <li>④ヒヤリハットと事故報告書の様式検討を行う。</li> <li>⑤「気づきのアンケート」は随時実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①法人BCPの作成</li> <li>②アレルソック管理</li> <li>③法人総合防災訓練の企画</li> <li>④防火管理者研修会の実施(年1回以上)</li> <li>⑤異常気象(大雨や台風など)への注意喚起</li> </ul>

4月	・県知協就職フェアに出展 ・第1回新卒採用試験の実施	OJT担当者会議	コアメンバーで年間予定・概要を決定	事業所ごとにマネジメントのあり方を積極的に進める。	法人災害・感染症BCP案 作成
5月		1か月振り返り 主任ミーティング	勉強会①個別支援計画のプロセス	リスクマネジメント委員の選出(各事業所1名)	法人災害・感染症BCP案 作成 アレルソック登録者整備
6月	・ハローワークミニ面接会	副主任ワーキング		各事業所のリスクマネジメントの取り組みを調べる。ヒヤリハットと報告書の雛型等の見直す。	法人災害・感染症BCP案 作成 アレルソック登録者整備
7月	・県社協主催の就職フェアに出展	3か月振り返り 2年目職員研修			法人災害・感染症BCP案 作成
8月	・内定者向け懇親会の開催 ・第2回新卒採用試験の実施	OJT担当者ミーティング 3年目職員研修	勉強会②個別支援計画の運用と見直し	研修企画打合せ	法人災害・感染症BCP案 完成
9月	・「障害福祉のおしごと説明会」開催	6か月振り返り 法人役職者研修会		研修に際してのシミュレーション	運営企画に確認
10月	・県社協主催の就職フェアに出展	2年目職員研修		研修実施	法人災害・感染症BCP 完成
11月	・県知協主催の就職フェアセミナーへの参加	新合同研修 3年目職員研修	勉強会③事例検討会の進め方	研修アンケートのまとめとフィードバック	
12月	・内定者向け交流会の実施	OJT担当者ミーティング 主任ミーティング		新しい報告書等雛型の試行	(BCP)管理者への説明
1月	・ハローワークミニ面接会	副主任ワーキング実践報告会		書式のモニタリングと課題抽出	法人総合防災訓練・アレルソック運用訓練
2月	・内定者向け事業所見学会	1年振り返り	勉強会④強度行動障害の特性支援	まとめ	
3月	・県社協主催の就職フェアに出展 ・次年度新卒採用試験の実施	令和5年度内定者研修			

令和4年度法人重点事業活動計画

チーム名（人材確保）

<p>今年度の目標</p>		<p>①令和5年度4月採用の新卒内定者を8人確保する。                  ②内定者辞退を防ぐための内定者フォロー体制を整える。                  ③求職者への広報アップのため、他業種・多団体との連携を図り障害福祉分野以外の求職者との接点を作る。                  ④中途採用者の計画的な確保体制を整える。</p>
		<p>具体的な方法</p>
①	<p>令和5年度4月採用の新卒内定者を8人確保</p>	<p>コロナ禍による感染防止対策をしっかりと取り取りながら、早期活動を心掛け就職説明会やフェアへの出展、求職者個々の状況に応じた個別の法人説明会や採用試験を実施する。</p>
②	<p>内定者向けのイベント・勉強会の実施</p>	<p>より身近な若手職員主体に内定後から入職まで定期的に、社内報(MOKマガジン・ブログ)の情報提供やイベント開催を計画的に行い、辞退者の減少に努める。</p>
③	<p>他団体と共催での採用イベントの実施</p>	<p>障害福祉に関わらず、福祉に興味のある求職者へのアプローチとして、高齢介護サービスの法人と共催で合同就職見学会を実施し一人でも多くの方に法人施設で働く魅力を伝えていく。</p>
④	<p>中途採用者の計画的な確保のため説明会の実施とともに、タイムリーなチラシの配布を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク明石で行われるミニ面接会に年2回参加し、定期的な情報発信を行いながら福祉職経験者などによる即戦力の確保を目指す。</li> <li>・急な欠員補充においては、チラシ配布チームを募り短期集中して該当エリアに配布していく。</li> </ul>

令和4年度法人重点事業活動計画

チーム名（業務継続計画（BCP作成））

<p>今年度の目標</p> <p>今年度は法人の災害・感染症BCPを完成させ管理者間で共有する。</p>	
<p>優先度</p>	<p>目標達成のために実施する事</p> <p>具体的な方法</p>
<p>①</p>	<p>法人災害・感染症BCP案の作成</p> <p>8月を目的に災害及び感染症のBCP案を完成させます。進捗確認のためにチーム会議を1回／月行います。10月までに法人災害・感染症BCPを完成させ、12月までに管理者に説明し共有を図ります。</p>
<p>②</p>	<p>アルソック管理</p> <p>アルソック登録者の整備を行います(5月)。 運用訓練については6月と1月を目的に行います。</p>
<p>③</p>	<p>法人総合防災訓練の実施</p> <p>全事業所同日同時刻に訓練を行います。訓練内容については地震を想定していますが、より現実的な訓練になるよう計画します。</p>
<p>④</p>	<p>事業所の災害対策をフォローする</p> <p>防火管理者を対象に研修会を実施(年1回以上) 異常気象(大雨や台風など)への注意喚起</p>

令和4年度法人重点事業活動計画

チーム名（人材育成キャリアアップチーム）

<b>今年度の目標</b>		キャリアパス制度を活かし、全体で人材育成を行う風土をつくる。
<b>優先度</b>	<b>目標達成のために実施する事</b>	<b>具体的な方法</b>
①	新任期を終えた(4年目)の職員がOJTを担えるよう研修及びSVを行う	<p>新任研修を修了する3年目の職員に対し、次のステップとして後輩職員を「育てる」視点と技術向上を目的に、OJT担当者養成研修を実施する。また、新任職員が配属される事業所においては4年目を迎えた職員がOJTを実践し、年間を通して振り返りとサポートを行う。</p>
②	人材育成等、職場環境づくりにおける実践を法人全体に活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副主任ワーキングの実施。</li> <li>担当部門、課題の共通点等でグループを分け、行動計画・評価表の進捗状況の報告・確認・相談、意見交換の場を年2回作る。また、年1回 副主任間で職員育成に関する実践報告会を実施する。</li> <li>・主任が副主任ワーキングのグループを担当しSVを実践する。</li> <li>年2回、ピアスパーペービジョンの場を作り、報告・共有・課題抽出及び課題解決に向けての動きを検討する。</li> </ul>
③	法人役職者研修会	管理職・主任を対象にマネジメントスキル向上を目的にした研修会を実施する。
④	人事評価表の改定(評価行動基準の導入)と検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役職者(評価者)への説明と周知</li> <li>・一般職員への評価基準項目(選択肢)の周知</li> </ul> <p>→ 評価表改定の意図、法人が求める職員像・年度末の自己評価する際の目安の事前周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入後の検証</li> </ul>

令和4年度法人重点事業活動計画

チーム名（ リスクマネジメント ）

<b>今年度の目標</b>		①課題に対する具体的な予防と対策を進めて行く。 ②事業所間のヒヤリハットの共有化を図り日々の意識付けをしていく。 ③法人としての苦情に対してのトラブルを未然に防ぐための研修を実施。
<b>優先度</b>	<b>目標達成のために実施する事</b>	<b>具体的な方法</b>
①	事業所ごとに「リスクマネジメント委員」を選出	各事業所で主体的に取り組めるための環境をつくり、「チーム+委員会」で構築し、取り組み状況を共有とリスクマネジメントについての発信を随時行う。
②	ヒヤリハットと事故の分別化を進める	各事業所よりリスクマネジメント委員を選出し、事例をとおしてヒヤリハット・事故の分析を実施。昨年度、研修で学んだ手法を用い、ヒヤリハットと事故報告書の定義を考察し使用書式の分類を実施する。
③	事業種別による課題解決へのプロセスを図る	KYT 等、各事業所で場面に応じて使用できる研修フォームや資料を作成する。
④	苦情に対しての適切な対応を学び、利用満足度を高める	苦情への適切な対応を学ぶことで、サービスの質の向上を目的に利用者の満足度を高める為の研修を実施する。

## 令和4年度法人重点事業活動計画

### チーム名（支援力向上）

<b>今年度の目標</b>	
法人内各事業所の支援力向上のため、下記のテーマに沿って年間を通じて研修を実施する ・個別支援計画作成から見直しまでの一連のプロセスを学び、本人主体の個別支援をデザイン・アプローチできる人材を育成する ・重度・強度行動障害の特性の理解と個別応じた支援の展開について学ぶ ・実際のケース・事例に基づいた事例検討会を行い、専門的な支援の共有や会議進行の手法を学ぶ	
<b>優先度</b>	<b>目標達成のために実施する事</b>
①	個別支援計画のプロセスを学ぶ  個別支援計画の作成を通じて、アセスメントやニーズ整理の大切さ・本人主体の支援目標や具体的アプローチの方法を学ぶ研修会を実施する。
②	重度・強度行動障害の特性の理解  重度・強度行動障害などの特性に応じた障害種別の特性理解、事業所や環境に応じた支援の展開方法を学ぶ研修会を実施する。
③	事例検討会を通じた専門的な支援の共有  実際のケースや支援事例を用いて、事例検討会の必要性や進め方を学び、事業所の枠を超えた専門的な支援の共有と各事業所で建設的な事例検討が行えるよう担当者のスキル向上を目指す。
<b>具体的な方法</b>	